月堂見聞集　十七

共廿九

内閣文庫
番號 和 34397
冊數 29(17)
函號 150 136

内閣文庫
和書 類
三四三九七號
二九冊
一五〇函 二〇架

昌平坂

糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

倹約御觸
大坂大火節酒井氏へ御書　　青山鉄之助殿被仰渡
難信灯仏経絶板　　四条道場被仰渡
慈鎮和尚五百年忌　　山田大助献詩作
長嶋君二尾之鷹　　老人異出現
當将軍家御法紙　　宗對馬守殿へ被仰渡
牧野備後守へ京　　若君御元服
将軍家御令京御将
御本丸御代参被為許
上使酒井氏奥村へ參

秘閣図書之章

月堂見聞集巻之十七

従享保九辰六月
至同十巳年七月

一 享保九辰六月 ……

日本政府図書
内閣文庫

一 ミ宗例之頃ハかくつぼ中けにかし定出殿
此中ニ掛物をもて用ひ候事
新敷を懸る事尚得未及し網加ニ而し宗出候
唯其押掛候共所作して書物ニ寄りし候様
當世家にハ見候所作ニ付ても上ケの掛物様ニ候
通し候ハ手際ニ仕まし是ハ是程候ハ事ことなき式ハ之ニ
夕け小さ角宗物ハ是程のかなもし文ハなるとそ
包掛候ハ其所ニ候ハ是候ニ式ハ湯添て用前候
候ハ無用なるべし
然ハ湯殿候て候ハ其地湯添して候ハ一切
御座候ハ尤ニて候
一 夜之蒲団式ハ其掛候様之上段席成文式ニ掛用
通し候而其所屏風箔置きし上段掛布文ハ草紙

用ゆ
一 墨跡之掛物ハ其内ニ而も茶掛ニ有候
有之而ハ去蒔ハ大切ニ守らるる候二付宗匠之
人より候得とも其候人右致し候[illegible]思召て吸
物着料理茶わん漆ニ物かなるへく候
墨蹟候得ハ同しそれかしこ[illegible]御出ニ
結構之料理[illegible]へく候
大人其上之石ハ当座に出て其後用ゆ
一 右之御所之座敷飯盛[illegible]便候也
下用[illegible]御出[illegible]
御[illegible]
御座ゆ

一 婦人紋服之事、其外ハ何にても御好次第ニて
准し申候へハ宜候
一 白張之事、長袖之黒羅紗かハ其外着用ニ候
りて候事ニ候
一 女房方ハ黒羅紗を用酒宴の時ハ着用ニ候
一 婿方ゟ相送り候ハ黒羅紗ニて候ハゝ白衣
白無垢着用ニ而包も用ひ黒羅紗並ニ着候
の事有之候へハ綿入之包ハ其用
之候也、用ひ候て被成候節ハ不苦候
之候事
但し紋付之縫紋を付候事も有之候由
之候へハ宜候
一 座之前図并貝桶抔之義ハ是ハ嫁方之調

候事ニ候間有之候へハ宜候
一 其外者風呂敷ニ至迄嫁方ゟ調候へハ宜候
一 婿舅之引出物ハ祝儀ニ而候へハ宜候
一 家内之衆中へ被遣之物ハ帯二筋ニ而も宜候
可然候
一 祝義済候而後御家来衆中へ土産物之義ハ
御手前之二三品ニ候而も苦しからす候、宜候
一 盃事之義ハ祝儀之節三々九度ニ而
一汁三菜ニ而も可然候、吉日之上ニ而
入用之義ハ物事目立不申様ニ可被成候
へく候
一 右之御祝儀ニ付而ハ…

一　別ニ右諸山ゟ一つも不残作

辰六月

以上　中関作

我ニ今度御用之趣ハ色々有之候御法度御用ニ付

之御國ハ下ニ而村役儀之分ハ上ニ而村役之

外法之儀ハ御法度出来候ハ向後ニ御法度出

し候ハ所役之者可被申付候

然ニ而ハ我等之分ニ而も我等之分候而

是ゟ者地其之御年ニ而御法度之儀御座候

御定之通法度之候ハゝ可申候

以上

一　右ハ国ニ付何方之者白川村ハ白川村之内有之

家数弐百五拾軒内ニ荒地有之百五拾軒

一　高之百六十石ハ鎮守家宇六ヶ所并高百四十石大荒

坑ニ有之此高割出不残清閑寺御寄附之内

ニ而御定山之寄附ニ而も高百六十石ニ付

村高ニ而も白川村ハ此百四十一石

此時ハ代官之能大荒地御用也　但

不被成候也御寄附之候而も有之候御定ニ付

此之御寄附之内ニ而も此百日高山ハ村高也

一　大月之内ニ付江戸ゟ中今年ハ其高ニ御年貢

出来候ハ別御蔵米ゟ之地ニ而ハ余り納申候

ニ付江戸御蔵ハ之定書付ニ而納申候

有之候ハゝ可被仰付候也

大月十九日

一　罷出右之高米前之内米之外荒地ニ付

右頭取御注進之処、先年御鷹部屋ニ指置候処
此ゆへ御座候

一 田中百姓共ニ而[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
此段申上候以上

七月廿五日大坂役人衆中方より
町々へ申触之候

一 [illegible]上方衆中ニ而[illegible]
[illegible]上山田村[illegible]
[illegible]
[illegible]

上山田村

一 去ル六月廿六日山城[illegible]御付之
[illegible]
吉[illegible] 宮[illegible]
山田源兵衛 宗兵衛 何之
田中六兵衛 同人 [illegible]
山田六兵衛 門 [illegible]
[illegible]
[illegible] 物家 [illegible]
[illegible]

一 七月十日ら御役人
[illegible]
[illegible] 門 千代
[illegible]
七月十八日[illegible]

一 [illegible]

右ハ銀銭ハ余り置ニ請取物有余りくゝ御座
候ゆへ入札相止申候

一 小判千四百三十八両　但当年

一 相場 但四分

大坂御割鋳座銀并ニ判金類不請付出し
京・江戸中より相場有之入札有之ニ付無是
大分ニ付右ハ御入用ニ付千両宛相済候
入札ニ付右申上候へハ用申候

一 米六百五拾石并ニ御〇米...
一 米八百廿石 但...
　メ千四百三拾石余
大坂米并ニ蔵米掛 二百石...
諸色...

右申上候ハ、御奉行より書付出して家持借人
古来より家持共并借家人共相互に存候様知
相構へ候様ニ可申付との御事也

一 七月廿六日 四ツ時 町代
町々江屋敷并ニ小役之者...
...

一 七月廿五日 ...
去ル六月下旬...
...

一 猪く茂中仕候

一 加賀守殿家来事去ル十月 公方様ゟ被仰出候ニ付
之言ゟもく申候之ハ二百石之ゟ在国之儀申付
しゟ二百石之減少仕候

一 去ル十月十九日夜ハ火事御屋敷ゟ出火致候由之
焼亡

一 江戸御屋敷御事無別条ニ付上方迄被遣候町之
御文ヲ可申付候処其外役人ゟも書
付を差出ハ上京〇ニ而ハ上京ゟ二条迄之
〇ゟ委細を申渡書付入念候様御役
此方へ御内々申入候

一 去月晦日之儀風聞之ハ八日分上申候様承ハ八日頃
申候ニ付役人共ハ猪兆之風聞ゟ仰候由

一 去ル六月廿八日大坂大火ニ付御蔵 酒井讃岐守殿ゟ
御奉書之写 播磨迄
一筆令啓達候 公方様益御機嫌能被成
御座候間可心安候 其元大火之由 尤被聞召
大火候 御蔵無別条由被聞召候
御蔵之事入念留守居可申付候
委細御使者を以可申達候 御家中無油断
申付候由 上聞ニ達候 恐々謹言
御用之儀候者可申越候

四月六日
松平伊豆守
阿部対馬守
阿部豊後守

酒井讃岐守殿

右ハ六月廿八日右之趣ニ付、御書付写ニ而御渡し候写

申渡之覚

右之通御書付　田中作太夫

一 当四月廿六日ニ存候得ハ御出金之儀ニ付、返済月賦ニ
被下置候処、同月廿八日ニ相成候ニ付、何方より左之通り
内分ニ而被仰出之候ニ付、差上ル、其
申付御請取、其後山田隣蔵儀、御
書面之通三浦院方江、手限三役方江申渡候当子年
ニ而相済候ニ付、江戸御家老衆より勤務之儀ニ付
候間、左様申付候也

門　家来　山田隣蔵

隣之御役目懸り出役之外、金銀取扱ニ付、御
其元相役勤務仕、人ニ相成候ニ付、右之隣之御

書面之通三浦院方江、家書取扱し御返済之事無之
御申出候ニ付、候之相成申付候也

門　家来　福島傳之丞

隣之御家老衆返済被仰付、其元三浦院
月賦ニ付、右之役者御返済被仰付候
仕候ニ付、其役之者ニ相成候間、右之通相済
ニ付、右之通申付候
年之通申付候

門　家来　福島作右衛門

隣之御月賦ニ付、隣之家山田隣蔵江三浦院方
御役仕舞之事、相成、右之通申付
仕候ニ付、右之文隣之御返済ニ付被仰
相成候、家月賦之隣蔵ニ付、右之通申付候由
相成ニ付、右之通御返済相成候

頼御取次之返ニ差出福御取次之返候　口家来　篠田五郎
相頼御取次之返候中村四郎左衛門分
差出候依而各中之口家来佐藤
候

口家来

篠田源左衛門
岩崎喜左衛門
西村源左衛門
浅田十左衛門
中村権左衛門
佐藤六左衛門

大隅守江為付
松平大隅守家来
正隆左衛門

よって
以上

大隈六十様　　うけ
　　　　　　　岡屋

辰六月廿九日

一　頼御書付毎ニ届候遣候ニ付御取次之方ニ相頼御書付毎ニ付大隅守方ニ相加候
　　ニ御座候ニ付而御達置候

辰六月

御

一　八月四日御用御書付之方ニ御留守居ニ御差出候
　　大隅守方ニ而御書付之江戸ニ御届候
　　八月廿八日

一　第二年御届候之家来　御用御届候
　　大隅守殿之御取次御届候之御用之方也

然者九条殿御所ゟ御返事候而所司等参候之処

上意之趣被仰付候間、早々可罷出候、左様候ハヽ

可被成其心得候由也

一 家門様御輪旨 御代

可之

　御門跡様御上洛之時御馳走、寺家中

　候而被仰付候ハヽ如此所司等可致

　御奉行御入候事[illegible]如此候

　御使者衆八月廿七日ニ御下向也

一 八月 井伊掃部頭殿ゟ御使者被下候、御馳走之儀仰[illegible]

一 六月廿日之御状之[illegible]出、西国諸国之御用ニ付、ヽ更ニ

　廿二日之寺[illegible]、右之日数相延り[illegible]申候、其元ニ可罷出

一 八月 園城寺長吏殿ゟ 寺別当御

　御参[illegible]御代参之事、[illegible]

一 八月 廿二日ニ御門跡御所持ニ尼知恩院ゟ

　申入ハ前々御借置[illegible]候御頭物[illegible]

　中会之[illegible]之[illegible]門[illegible]之事ニ離儀被仰候

　得ハ申書状之[illegible]ニ無[illegible]

　[illegible]知恩院之[illegible]

　[illegible]御門跡様ゟ[illegible]之事

　御付之[illegible]一宮之[illegible]室

　[illegible]歌道 [illegible]和歌[illegible]樹光室

　[illegible]知恩院[illegible]

　知恩院[illegible]

　[illegible]

一 八月 [illegible]知恩院[illegible]

　白[illegible]首[illegible]

一 山本入道人数四千余人ニ而打出候所ニ信玄旗本を追
懸候而候へ共是又負候ニ付而山本菅助
雲…ハ討死六月ニ病死 但し
一 八月十六日 越中守殿御返事上杉河内守代ニ而
太田和泉殿江ハ御使者ニ而之
八月十六日ノ儀
一 謙信公井上人ニ而御見舞ニ而被成候 謙信公
信玄之御陣所へ被参候而井上人
之御見舞ニ而被成候処ニ御一所ニ而
一 八月廿八日儀
村上殿・高梨殿・須田殿ニ而被参候
ニ而御内談被成候 其後越中へ被参候
由ニ候也

私云 謙信公御直書之写在之 河内守ニ宛 宇佐美駿河守へ
一 八月十九日 河内守殿御出陣ニ而候
同廿日御儀
一 先年上杉殿御所へ被参候処ニ
…
一 十月十四日 上杉殿河内守へ被遣候御書
越中守殿 安房守殿
宇佐美殿 長尾殿
…
一 十一月十二日 宇佐美駿河守ニ遣候御書
長尾殿 上杉殿へ被遣候

辛[illegible]　松平周防守殿

以書付被仰渡候

一 明暦元未年八月廿五日
[illegible]酒井[illegible]被仰[illegible]

[illegible]書付[illegible]被仰渡候

一 [illegible]寛文八[illegible]
同[illegible]八月[illegible]

一 [illegible]三月[illegible]　[illegible]　元禄

一 寛文[illegible]　[illegible]

一 寛文[illegible]年　[illegible]

一 元禄[illegible]年
[illegible]八日[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]

一 [illegible]
寛文七年八月[illegible]

一 [illegible]九月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 八月[illegible]

一 九月十[illegible]

[illegible]

一 元禄御奉行より又ハ大御目付より六郎兵衛へ
被仰渡候ハ大小屋敷ニ付八月六日御番所
於御前ニ而御尋之内御内證ニ付被仰付候
八月ノ日 加賀守殿御役所江御届申候
此分書付御座候 ニ而 御届申候
八月八日届

一 二条御城内御殿御修復御屋敷方入札
之者共より見分相済十月九日御寺町通
町上ル中村五兵衛ニ而入札仕候法林寺
同月十五日 於御奉行所御届申候
同十七日届
五兵衛内證 丹後 御修復 當年中 同様
年々 ⿰ 御番 御役 御礼

一 御普請方御役所
壱丁吉田御役所江相渡候之儀ニ付大工
當年 御銀御渡し 御役所ニ而 御寄合
此方へ 御取次 之内 御修復之事
之候御役所ニ而 御届申候也
一 御役 御見分 御番衆 御座候
御届申候
一 御目付より 御役所江御届申候之由
大工 御役所 御修復御屋敷 相済申候也
御届
一 九月 御番所 御役所江 御届申候 御見分
御奉行 御番役 御修復
御役所 寺社 御届 御届 御役 同断 同

杉原　松田　岩本　粟飯原　飯尾　鶴也
諏訪　斎藤　布施　以上

一 奉行以下大小名　清　御前御沙汰之時
奉書之清々ニ合也ハ
右之御沙汰之也御成敗也

一 清　御前御沙汰
　　同様之御沙汰
清之御前御沙汰奉行之義之御成敗
以下之御沙汰也

一 永享八年正月　以上
　　同御前清ハ御沙汰在

一 永享十年正月
　　同御前清ハ御沙汰在

右御評定始之御沙汰之御判始之前日ハ評定
御評定之御奉行御成敗之之年ハ御行
之之御前御沙汰人之御沙汰御沙汰之御
之御沙汰御沙汰之之之年之御下沙汰年之
之之御沙汰也

以上

一 永享二年正月
　　御沙汰
右御沙汰御評定之御沙汰之之御沙汰
之御前御沙汰之御判之之御前之
御評定之之御沙汰之之御沙汰之御沙汰
御沙汰之御沙汰之之御沙汰也
右御沙汰之御沙汰御沙汰之之御沙汰
中之御沙汰之

一 九月廿九日御留守居ゟ寺社奉行所へ書付を以御届申上候処左之通
御添書御自分ゟ被差出候様申来候ニ付御届申上候
新規之儀ハ不相成候間以来右様之儀無之様可致旨申渡候
相済候ニ付御届申上候　以上
別紙之通御届申上候処十月朔日御聞置被成候
以上
十月朔日

一 同所ニ而
一 [illegible]
右者[illegible]
[illegible]

一 根津権現別当[illegible]
一 十月三日宗源院[illegible]
御目見[illegible]
一 去ル七月[illegible]金地院[illegible]
無住[illegible]
金蔵寺[illegible]
一 宿　同[illegible]
同　[illegible]
同　[illegible]
同　[illegible]　壱眼
金蔵寺[illegible]
守居寺　雲岡
右者[illegible]
[illegible]

以金子之儀、従前々取計候節ニ金子可被
下候旨被仰渡、御役所江被仰付、右之通相済候
右之通之趣御届申上候、右御勘定奉行衆へ
被仰渡候、増上寺御霊屋ニ付而参府之節
御勘定衆御役人中御用御座候、法会方大目付衆へ
御達ニ付、御普請奉行衆ゟ当御目付衆
同心衆ゟ大目付衆へ上下拾八人ニ付、為聞
御目付衆御普請之節被仰付候、右之通相
触可申旨御届申上候

一 十月六日、公方様御成之節、寺社奉行衆
御届被成候、右之段御届申上候
右之通被仰渡候、右之者共大目付衆へ御届候
上御役所へ伺之上ニ而相済候、尤御目付衆へ茂御届申上候

一 同前御勘定人ハ何ハ以後ニ而御届
去ル七月廿九日、御普請役人ニ申渡候処
右御役所之請取申候、御勘定吟味役
前々之通、勘定衆ゟ被申渡候
人足之儀ハ右之様ニ被仰付候
出候ハヽ、村々ニ而人足
何之通被仰付候、七月廿日之通被仰付候
内ハ右之通、積立候得共
　十月十日　御届

何様
一 米七千石余之儀
　御役　御本丸
太田大炊頭殿
十月廿日

一 御手前御伊勢参ニ而御附候付、十年ニ罷越候處入
相願候而も世上ニ而御願候由也
薬六千人程　御手形御認
大坂表より[illegible]中ニ付罷越候日
限ニ付[illegible]六千人程罷越候ニ付、御城代へ御届候
處、[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 つき御届ケ也

一 中之島屋敷[illegible]
[illegible]十五日[illegible]
町井[illegible]
[illegible]御届ケ申也

十月廿六日　[illegible]

一 加賀守殿[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十月十六日届

一 加賀守殿[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右之外ニ指出候ニ付、当月ニ至り無之哉、一ト指出
之由申付候ニ付、御朱印之写池上寺ゟ申遣
請取御座候ニ付、同所御当番ニ而ハ写之事ニ而御
無之、御沙汰之通リ申付候ニ付、右之通ニ而同所
役人ニ相渡候ニ付、其所ニ相渡之、猶以御取次申候
御取次候へく候

一 大雲寺ゟ御公儀ヘ差上之候、御当番大雲寺ヘ指出
申出候ニ付、猶以其段申上候ニ付、御当番之方
御取次ニ御請取候ニ付、御寺社奉行之御当番ニ而
御公儀ニ御返し、月々ニ而御取次之旨
御沙汰之通ニ而候、以上御請取申候

一 大雲寺無之候ニ付、御取次之由申候ニ付、御当番
御取次可申旨、其段申渡ス

十月十六日之　御代　御家

一 出雲大社之指出、御当番之方ニ而御代ニ相渡候
毎月十八日之御出之日ハ、御指出候而申上候、御公儀之御沙汰
ニ付、御公儀之方ニ而御取次、御書付ニ而御
中ニ而御写之、御取次ニ而御取次候ニ付、御書付之写
ニ而御書付、御取次之事

十月十四日之儀

小出左平十郎
中村伝兵衛
前田伝右衛門

一 右御大社之御糧米之儀ニ付、当役人差出候、人ニ而
御糧米之儀ハ、来月之内ニ付、御取次申ニ而
御沙汰ニ而候、御糧米之儀ハ、御取次可被仰付候

覚之　十月廿七日付

一 婦人之義被仰遣候[illegible]上々御代
[illegible]御法度[illegible]申候[illegible]
[illegible]之事ニ而[illegible]男女[illegible]
中[illegible]御定之[illegible]被成候[illegible]
其段ハ[illegible]候[illegible]
此旨書付被仰出候

一 大名衆[illegible]以て御用[illegible]大名衆
定[illegible]御出入[illegible]御届[illegible]
申[illegible]申[illegible]
[illegible]付[illegible]上[illegible]
又大名[illegible]御勤番[illegible]

[illegible]

一 [illegible]被仰付[illegible]
[illegible]
[illegible]
味可申候[illegible]

以上

一 [illegible]遠慮[illegible]
御法度[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]十月廿七日付
一 [illegible]八百[illegible]

[illegible]

一六百石　米千四百五十八石五斗五升　和泉守　太田資宗　三枝善
一五百石　米千五百石八石　同　木下　大久保善
大坂二條御藏米之内蔵米三百石宛之御用付
相渡り候分者右米千四百五十石ニ候代ニ而御取
申し候者則余ニ付て宰相之渡り候者ニ而
相渡候者此外ニ而宛置被下候様渡置相渡
相渡ハ大方ゟ被仰付候也
　同
一大判殿ゟ書付其ニ参候ゟ御渡被成候事　宰相殿
一こゝも何とも
一右同日　国奉書御右衛門殿へ御渡候
同日ニ　御老中御渡候得共　御手形被出候ゟ御書付
年寄中ゟ遣之御返ニ有之御座候て御念之通被仰付

一右之通ハ上様之御代御蔵米御地頭御代官所之御預御城
御代官御勘定所御蔵奉行御用御番所へ御預けなと
被書其者別紙之ニ候者内御番方之御用候
合足候而御礼有之候処
　　十月十日　加
一所被之　御蔵奉行ニ被仰付候　右衛門殿江　御預申候　木下
出し候而御蔵米御渡被下候　右代官所渡候
相渡候御渡申候得共　右米之通ニ被下候
一寛永十三年　同日　五月十日
一米　八百石　五百石　寛永　大嶋
一寛永十一年　同　十月十日　木下　大嶋
一米千五百石五斗五升　三千石　大嶋
大坂二條御蔵米之内蔵米三百石宛之御用付
相渡候分者米千五百石之代ニ而宛渡候旨被仰付

渡候上ニ而猶見届候者於有之ハ当月六日迄ニ可申出候
持候人ニ茂申ニ不及候得共、其上ニ而左様之族有之候ハヽ
御咎被仰付候間、其旨可被相心得候也

右之

卯ノ十月　　　　豊後　河内　雅楽　加賀
　　　　　　　　河内　加賀　美濃　大和　大和

一　御蔵米方之手形八百石余之内
大坂御蔵米渡候時分、兼而御定之外ニ増米
并欠米等之儀、前々より相極候通可相渡候、
面々不届之儀無之様ニ念入可申付候、
惣而大坂御蔵納之儀、是又可心得候也

右ハ六月之触

一　右御借米之義、御蔵ニ而相渡候ニ付、右之通相心得候様ニ

一　此度江戸御城廻り普請ニ付、此方より人足等差出候ニ付
在々村々之者共ニ申付、賃銭之儀ハ前々之通相渡可申候、
且又在々之者共ニ右之旨可申聞候

一　去々年御蔵所々御物成米之内、江戸廻米御家中渡
并御蔵詰米之外ハ、所ニ而払候儀、前々之通
可申付候、其外之儀ハ有来之通可仕候

一　右同断御代官所ニ而、大坂御蔵納ニ仕候付而、小川ニ而
申渡候通、御蔵納之儀ハ其年々之通可仕候、
猶又当役人共ニ可申付候

右ハ十二月之触

一　先年従江戸被仰出候　御法度之趣
弥相守可申候、此旨在々ニ而堅可申付候

御役日限前ニ候ヘハ　其身ニ不及候也　関守下　根義
一卯年八月　米二百四十石　同断　十郎兵衛
一同　米千四百九十八石余
右ハ二條御蔵米当掛り広瀬荒井
日記役当役の内払米日限ニ付御
役中より申越候ニ付　其節商人共江
売払申候　右米代銀之儀ハ高値ニ付
当人共へ前々之通也

一卯年十一月　米千五百石　大坂払米
大坂御蔵米　右ハ同断当掛り　人足共江
前々之通九十日限ニ而　御蔵元当掛り人足共ニ不
足之分　代銀之儀者　前々の通　売払申候

右荷主へ前々之通也
同断之通
一此度大坂御蔵米千五百石　六千石
其外当掛り入札ニ而右荷主へ前々之通也
一二条御蔵御当月御勘定縁懸り小御門
御蔵之内御役懸入札ニ而十月十五日
之所此度之内中井主水方へ出役人共へ相渡
相済候ニ付　十二月十日相渡之候売之
当人共へ前々之通也
一此度御蔵米　同断之通　十二月十日
相渡候ニ付　竹中御蔵之儀者前々
相済候ニ付入札ニ而右荷主へ入札之
当人共へ右之通也　大坂御蔵ニ而御蔵之
通り前々之通也　大坂表より御触之通

一 御蔵入ニ成候ニ付如斯也 去ル卯ノ年分
米五百三十石五斗余 右守 宮寺内
右ハ去夜四ツ時御米蔵焼候ニ付御蔵入ニ成候之 御目
見之者ハ米壱斗八升ツヽ銭五百文ツヽ被遣候 町家之
人へ金壱分ツヽ米壱斗ツヽ被下候 寺社之者ハ御救米
被下候 町人ハ米壱斗三升ツヽ被下候也 去ル卯年分

以上

一 去月廿三日夜八ツ時ゟ稲荷町辺ゟ出火仕 二丁目
御役所家焼失ニ付 同日ニ相成候ニ付 町中之者迄
相渡し候 御蔵ゟ米被下候 御褒美
一 同廿四日夜四ツ時ゟ二丁目辺ゟ出火仕 町家焼失候
次第 取調 被仰付候
一 同廿五日夜五ツ時ゟ二丁目辺ゟ出火仕 候付之町
家ニ付 候間御目付衆ゟ相届
一 同廿六日夜五ツ時ゟ八丁目辺ゟ出火仕 町中庭迄焼失仕候
由御座候 右ニ付 町中ゟ御届申上候

一 宮内 去ル十七日 御届 御勘定所 御役人衆
一 米九百四十五石 大目付 五万石
一 米五百八十五石 御目付 五百石
一 米弐千四百五十石 寺社奉行 五万石
大判千七百八十枚
右ハ三丁目御蔵米御預ケ置候ニ付 御奉行所へ御届申上候
然ル上ハ様子ニ付 何分ニモ御沙汰次第ニ可仕旨 被仰渡
十八日ニ御蔵ゟ米御下ケ 被遣候ニ付 御請書差上申候
去ル十日 御役所へ被召出 被仰付候 右之通 相違無
御座候 以上

一 右之通り 御届申上 候処 此段宜 御沙汰被成下候様 奉願上候

一 稽古之儀者古来之通被仰付候得共今度
茶屋方ニ而相勤候 御用向
大御番頭御書院番頭小姓組番頭
先手弓鉄炮之頭御目付
御目付代り相勤候者共
相勤候様申付候事 右之趣
[illegible]

一 右之外 長崎奉行御代官 [illegible]
並御目付 御勘定奉行御目付 [illegible]
寺社奉行 [illegible]
御勘定奉行
大目付 [illegible]

御勘定奉行
[illegible]
松平 [illegible]
松平 [illegible]
[illegible] 守

右八組之 [illegible]
組頭 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

御書院番頭
土岐 [illegible] 守
[illegible] 守
[illegible]

御小姓組番頭
松平 [illegible] 守
酒井 [illegible] 守

御徒頭
松平 [illegible]
本多 [illegible]
[illegible]
[illegible]

御目付
[illegible]
[illegible]

小山助四郎
山岸弥八郎
柳田縫殿助
岩瀬権之助

小性八人衆

一 若君様二ノ御丸ヘ被為入、依之府中諸大小名
一同ニ今日御同道之ハ、一統ニ同十八日御目見被仰付
一 同廿日 昭仁親王 御着袴 当日之祝儀御
大目付ニ而相触
一 松平伊豆守殿より御府中諸向御役人
並御留守居衆へ 此度当月ニ而被仰渡候
大目付並御目付 町奉行・寺社奉行へ被仰渡 町ハ
て相触候也
同廿五日相触

一 長福様御袴着当月十八日御座候而若君様
と奉称候様被仰出候、此方より相触候也
一 大納言様 御代○揃例
大納言様御名代ニ御臣下之御供揃 御代諸八
役衆並之御供ニ被成候ニ付 右之御臣下より家来之者
取次之者より被仰付 大納言様御礼 御臣下
御供揃之儀 御用人ニ而相触候也
以上
一 同月十五日
御礼同 尾張中納言殿 水戸宰相殿
長福様へ御目見 紀州殿
松平肥後守
御目見 松平大膳大夫 松平出羽守

一 御黒書院ニ而御　松平加賀守
目見之節并一同ニ御礼申上候処、
御白書院ニ而御　目見御礼申上候ニ付
一 献上服紗小袖麻上下一同
一 去月十八日　従前之通若年寄衆御礼被
仰付候ニ付 御前ニ而又御老中[illegible]手紙
八朔之儀ニ付去年之通ニ而 御前ニ而御太刀
目録之儀ニ付世話ニ手紙ニ而御礼被仰付候
[illegible]廿一日小袖出候様ニ[illegible]
一 右御書付[illegible]
一 若年寄衆ハ御太刀目録ハ御[illegible]
一 御手文ハ[illegible]
公方様　若年寄衆ハ御太刀目録[illegible]

一 去ル十日登城ニ而御礼之儀若年寄衆ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
右御[illegible]
一 [illegible]
御太刀目録[illegible]
若年寄衆[illegible]
[illegible]
御[illegible]

松平加賀守
御名
松平[illegible]
[illegible]

以上
常山寺前住

以前ハ前住出家之儀ハ以後

御條目
大番頭ハ松平隠岐守殿 海口(?)但馬守
御書院番頭ハ牧野因幡守 石川丹後守 牧野(?)
御小姓組番頭ハ 戸田源右衛門
御目付
稲葉(?)越中守 勝手(?)方
相模守 但馬(?)
井上河内守 播磨(?)
酒井雅楽頭
山本安房守 旗本(?)
堀川源五郎
大番頭中人数
稲葉三河守 中人数
右之通ら 御目付 以上

一 当秋出家入院之儀当寺住持并大衆之儀被
之候事ハ当寺住職并寺之衆中茂
御法度之通ニ而当年自今以後 御下知之通大衆ニ而
可被申候 其子細ハ
以前ハ被仰付候事も有之候へ共当年ハ
一 前々ハ当月中被
一 当年ハ出家衆(?)被仰付候
一 右之通ハ当寺其外之寺々
以上

一 今般御祝儀申上為名代江戸へ被差遣
此節中ケ間役料并小姓組諸役人御目見
出府之前ニ付候段被仰付候御目見
右之通御礼申上候　同上
一 去ル十七日晩七ツ時出火当国社中之内焼亡
一 同八日暁七ツ時出火御役所御門前ニ而焼し
表御用屋敷之内焼亡雨天故早速鎮火
一 去ル十二月廿六日
公方様　若君様へ御太刀御馬代献上
右之御使者
公方様　若君様へ御小袖十五領ツヽ献上
右之通御使　同上
公方様　若君様へ二種一荷

一 右之通ニ付　御使　某守
一 右同役御月番
若君様へ　御小袖五　右之御礼
公方様へ　同断　献上候へ
右之通ニ候へし
一 去月　日畫師御用被仰付候御目見
畫師大炊介被召出御役料被下置候
被仰付候ニ付御目見仕候
右之通御礼申上候
一 去月廿日
　稲葉丹後守殿御役料被下置候
　御同人江戸表ニ而稲葉様方
　御役料被下置候

一 宗易ハ法体ニ而御座候得共俗名ハ千与四郎と申候
近世ハ我流茶の湯に候と申候由

一 茶の湯数寄之儀 印可之由
茶手前 [illegible] 箇様成儀

一 御成敷茶 太閤様御前ニ而茶道相勤申候
乃左様之儀御座候 [illegible] 御殿へ入申候
古田織部殿 [illegible] 四国へ [illegible] 申候
申候 [illegible] 入被成
左候而其後ハ [illegible] 御座候

一 右之通利休 [illegible] 御茶湯 [illegible] 申候
御手前ニ而 [illegible] 御座候

一 高麗茶碗ニ而御茶湯を [illegible] 申候
根て [illegible] 被遊候御 [illegible]
其後 [illegible] 元和年中 智恩院

にて [illegible] 御座候 [illegible]
信長公 [illegible] 智恩院へ [illegible]
其後 [illegible] 申候 [illegible]

一 右之御茶 [illegible] 御茶湯被遊候 家康公
茶湯ハ古田織部正 [illegible]
同年 [illegible] 御茶 [illegible] 寛永年中
右之通ニ御座候

一 茶の湯之儀 [illegible] 印可之由
太閤様御前ニ而茶道相勤 [illegible] 入被成候
其後 [illegible] 御殿へ [illegible]
古田織部殿 [illegible] 入被成
御座候 [illegible] 御座候也

一去ル十八日　小笠原山城守江御預ケ之処　御勘定奉行
一角右衛門　若御代官蔵前院様御預ケ相成候　被仰付
方之御宗門改御入用之通被下置
　千百人　花ケ谷　御手当之通被下置候
　御手人　加人　御手当被下置候
一此節之御手当之儀ニ付申聞候
一南茅場町　住居御用屋敷四ツ谷御門外
北側町代地町屋敷之処東側町代地寺
之屋敷茅場町御手当仰付候処此節御用屋敷
御手当御役被仰付之処右住居
一南茅場町伝兵衛事之内先達而之通町人々所
茂右衛門店　伝兵衛事　借屋之者
申渡候処町分　住居之　北側之通之者
一南茅場町　住居寺町東八丁堀　浅草寺地面
御用屋敷之地面之町屋敷町方
十六日十八日頃　御宗門　中手　御手当
御勘定奉行　御書院　御目付　松平周防守
一同十八日　京橋町北紺屋町　御手先弓頭　松平周防守
一同廿日　刑部　御小人目付　本多
新見小左衛門　右同断
一同　松平周防守殿　佐渡守殿　御勘定奉行
一同廿日　八ツ時頃町御番所東側　御奉行
右之者共御手当之儀ニ付　住居
一同晦日　八ツ時大伝寺町　本郷
江戸御留守居　山田宗兵衛　山田宗兵衛　十二歳
右之者　御役御免被仰付候

其後ニ而罷出候て詩文を御覧ル被遊候而右
方御座中ニ被 召出候人ハ被為 大事後出御
延遅 右種々四品ニ付 山田宗見ニも下ケ
辰六月 官府ニ讀書ヲ呈ス詩ヲ 山田宗見
同六月廿一日 水野壱岐守殿
国語旁訓
六月廿一日水野候ノ席上ニ走ラセ筆ヲ奉ル呈シ
叩ニ作テ登龍ノ客ト君候有好顔薫風高閣上
身ハ似到ル蓬山ニ
同六月廿四日
路史 国語 廣潮 松平能登守殿
六月二十四日茶話岩村候ニ席上ニ走メ業ヲ
奉ル呈シ
君子退テ朝ヨリ後高雲御席ニ開リ從容ト半日對スハ
愧ッ少ナキヲ孔融カ才ニ
同六月廿五日 石川近江守殿
三才圖會
六月廿五日神戸候席上ニ漫ニ賦シ奉ル呈シ
氷草玻璃玄益華堂六月秋不入今日過
何以謝シ賢候ニ
同六月廿八日 大久保佐渡守殿
通鑑綱目
六月廿八日大久保候席上漫ニ賦シ奉ル呈シ
候門自古称ス如海童子何知ラカ御李君ニ
明日御講賀シ親去ラハ虚名ハ都下ニ早相聞ン
以上

一　十二月廿六日　御城ニ而碁将棊相手江

先三目指　（仙角　因碩
先二目指　（門入　友碩
二ツ六目指　（因長　知伯
香落　（宗民
二番指　宗寿
飛車香落　（宗与
平手　宗有
本因坊
以上

一　当　将軍家者宗也　御法式被遊書　文詞ハ水戸黄門御作ニ候
一　若ハ衆の為ニ衆ハ若法様と知候へし
一　さとき人ハ無理成事ニても下人ハかなしむ事を知候へし
一　下様ハ様ニ成ヘハ下々ノ事をよく知ても上下ともに成へし
一　様ハ下の事よく知りよく分別なきはよからぬ事
一　ゆるさるまじきれ
一　親ミ通ふ候ニ依く候へし
一　郎党ヘ候へ候得者　世ニ於て候へ
一　少かりても万の事よ大かりても能く候へ
一　上下ニ大事之ナ事ニ候ゆへと候へし
一　太之御書付有　公方様二ツ御心ハ候御座候
若殿様之御書付　御国ニ御座候御出候て
若君様ニ候　上覧に候て
上覧の所ニ候　也

享保十乙巳歳

一 元日晴天諸国泰平公武礼式如例年

一 正月六日四条道場金蓮寺前住呑海ト申

右呑海之弟子覚阿と申僧事ニ寄せ呑海を殺し入牢

三条河原村尾張屋ニ而若党を殺し其上ニ而帰命

右覚阿事守護人之流罪之処ニ而亀海師宛書ニ而寺を

記書之詳也 右覚阿事守護人之手ニ渡り候而大

為人相改ニ而不届之事故 獄門ニ被行候

一 正月七日御暇乞御上京 所司代御役替ニ付 松平伊賀守ニ御座候

一 同十一日 御発駕 東町奉行 小濱志摩守 御寄合 北町奉行

一 正月八日[illegible]御礼[illegible]大蔵卿[illegible]高家[illegible]

正月十六日之儀

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

正月十八日之儀

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 当家ニハ是ハ節会ニ付る也
大方ハ仕手之様躰ニ依て通りよく候ハん事ニ候ハん
了簡有之候て何れも[illegible]
一 新参之御所様衆も是ハ何れ申候とも不及
申候ハヽ御中付候て内々御用ニ候ハヽ
大かたハ御供衆[illegible]被召候て又ハ
手前之衆ハ御供衆ニ成候て別書付候
御供衆ハ無御供衆ニ被申候て是ハ[illegible]
[illegible]ハ御手前之御[illegible]候て可有之也
已下之儀[illegible]
一 [illegible]御[illegible]可申付候
[illegible]
[illegible]

中[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]

一 右之趣同十六日御届ニ罷出候処　西尾隠岐守殿
右御礼として御役一通可被申上
一 寺社御奉行ゟ御用御触有之　松平伊賀守殿
一 三月廿六日上京　右為御礼参上　中條大和守殿
一 右ニ付御届并御附ゟ御所司代江申上
御差出し候処相済候由被申渡候事
御所并京都江御使被仰付候ニ付相勤候事
一 元日四方拝節会ニ付御使被相勤候由
之由例年
一 右之御礼献上之品　内々例之
一 右付上使　中條大和守　参候　同日例之八日ニ被
御襄日ニ候ニ付十七日ニ御礼被申上
一 二月三日壬申　春日祭

殿上中御　醍醐右大臣殿参向御
一 奉行職事　中御門右中弁宣誠朝臣
参仕弁　清閑寺右中弁豊房朝臣
一 日野之例幣使　右兵衛督通晴卿
家重云御治定被成候得共御向也
二条右大将殿忠云
御衣右之通被仰付雅卿
参仕
大内記清国致長朝臣
紫宸殿江出御之
日次之奏
二条殿右府公忠兼
相替候事十二月被仰付
書く可成候
一 右之例御之　両傳奏　広橋通胤卿　中山栄親卿
家重云御治定被成候由被仰付被成候
御日之御服喪　御服喪　御治定被成候　御内々之
此旨伝達候也　十二日　右之段御治定被成候由
松平伊賀守殿

一 比姫宮ト御姫宮 四才成 此御両宮共閑舎て当春御縁
春来れハ流よ花咲候御門ハ四ツよりとんで月影かゝり
以上

一 二月廿九日亥ノ刻中佳村平軒余焼失拝京風
従之残ん家信拝楽

一 同廿日夜六ツ時より五ツ時了半時此座焼失
拝焼失し 同夜加茂川村ニて拝焼失

一 二月廿二日中山天皇閑院宮二月廿八日

一 正月十四日 院御会始 拝初大名書

一 同十四日 禁裏御会始 禁裏中佳殿

一 二月三日 伊勢播磨守足軽ニ付 御所出勤来
男之御出 御如来 御足軽上京 守殿
若之殿出殿之家段四方冠段務候 御府焉

右伸ねとよ後より写し御所御承

一 当春安政御礼出京中ゟ所々京都上京之所人所
所々所々二月十六日 二月十六日
地等往候段御番所中江別紙御承ニ付段付
之以御申出御覧可申之殿ゟ出し段申付之旨
所之御承又承れ大坂町奉行御内証御頼申上候

一 二月三日夜 御前御出 此度所々御座焼失
同十八日 阿蘭陀人入京
カヒタン ヨワンステイテンス 四十才
外科 ウエロムケイテラアル 三十才
筆者 カルナアトスヘルナアトスヘッセル 廿二才

一 昔坤ノ方ニ当テ大星見ユ土御門ニ住居仕候者見
老人星ト称ス上ハ毎ノ常ニ出ル事無シ出ル時ハ安穏ヲ
得ルト依テ之ヲ授ケ国ヲ司ル也凡此星ヲ
以テ老人星晋書天文志曰南極見則治安
而主ル寿ヲ漢書曰天下騰ニ南極ヲ春秋ニ見ルハ丙丁ニ
並ル瑞ヲ添遐算ヲ為祥表永年ニ異朝ニハ黄帝ノ
御代日本ニハ延喜帝御代且又元禄二年正月
此星出ツ

一 二月十三日八ツ時頃妙寺ノ東新地ニ福寺ヘ出火
仏光寺ヘ類焼其方風強ク吹申候妙方ニ
町人小屋ヘ落申候仁和寺方町人小屋ニ而類焼仕候
三福寺仏光寺御門前ニ而類焼ノ寺院
并ニ此方町人小屋焼失仕候町人小屋皆焼失

二月十五日

一 此度於江戸御触有之江戸大坂其外ニ而[illegible]
相成候ニ付銀子之儀被仰付候得共其段
被仰出候御事也

一 二月十八日流罪者
四条坊城遠寺住僧 玉林院 僧海 三十七
紫野大徳寺 桂林院 法誉 四十
右両僧共寺内海蔵院ニ而儀式御座候処
猥ニ取扱候趣ニ相聞 右ニ付四人口ニ相備候
右ニ付流罪被仰付流罪申付し
同所浦ニ而津田村之内之者共四人 右何郎
此者共津田村ニ而出火致し火元 田所何之物を放し大火
ニ罷成候間流罪申し付候者也

一 此ものハ振売之取前ニ居候所ニ取付致し手引仕候ニ付
得死人ニ関わり候得共人殺之者ニ無之ニ付遠島可被仰付候へ
流罪申付ル

一 宝永五子年西御役所へ罷出候 宝永五子八
此もの主人所持之金子預り置候を使捨 主人方へ不届
ニ付御帳面ニ書加へ置候所又候不届之儀仕候ニ付遠島
此者ハ其段不届ニ付遠島 流罪
鳥居丹後守殿御用番之節伺之上被仰付候
辰六月廿一日 小笠原佐渡守 伊兵衛 年三十二

一 此者ハ伊兵衛と申者召連不届之儀仕候ニ付
御仕置ニ可申付所彼是不届ニ付為流罪申付候者也
右之通ニ付其上遠島之者ハ此外ニ不届ニ付流罪
能勢出雲守殿御役所へ差出候 忠兵衛 年十八
辰八月十六日

一 此もの共ハ召出し不届之至ニ付 宝永五子年
不届之至不届ニ付遠島流罪 辰六月十六日
此もの共ニ申付候ニ付各々人相改候ニ付 丹後守殿
此もの内証ニ而寄合候ニ付相尋候処 佐渡守 市兵衛 年卅
御帳ニ付遠島申付流罪
能勢出雲守殿御役所へ御用有之 辰六月廿一日 五兵衛 年

一 此もの不届之儀有之ニ付 遠島流罪ニ付
遠江守殿御役所六年以来ニ而被仰付 十兵衛
此もの博奕場へ出入いたし候ニ付不届ニ付
西御役所へ罷出候所 辰八月 清兵衛 年三

一 此もの博奕場所ニ而出合候ニ付御仕置
自分ニ而出合候所不届ニ付流罪
此もの不届ニ付遠島流罪申付候
此もの主人方ニ而不届ニ付流罪申付候者也

二月廿八日　同上

一 松平佐渡守様御取次にて御家督（ ）御願之通被仰出
御養子之御礼として山科御殿御使被遣候
御名代として御附之衆御使者を以御届有之候
右御口上之通

一 二月廿八日　松平佐渡守様より松平[illegible]より御届
ヶ条之通御届中へ二条御目付へ　御目見被仰付

一 同廿六日　松平佐渡守殿より申来候中川御番所屋敷へ御使
[illegible]方より大坂米相場書付被下　同断
路銀之騎馬二騎　麻上下　同断

一 二月十六日　横浜[illegible]
緑川　御桐山横浜
延（ ）御名代　[illegible]横浜　浪人

一 二月十五日松平佐渡守殿へ御家督御礼
小姓　坂本横浜
御浪人出家　村尾横浜
御浪人　川口御横浜
右馬　川口御馬

先家騎馬二人　小姓之乗物　[illegible]
引馬一疋　[illegible]　御松平佐渡守殿
騎馬二人　[illegible]
騎馬二人　小間使　雑色[illegible]
引馬二疋　鎗[illegible]
弓箭二張　長柄　持道具
御持筒　対[illegible]

寺沢佐渡守 同馬上 後騎 茶弁当
騎馬九騎 諸大夫二人 寺沢 宮内少輔 騎馬共足軽二人
御供之衆 寺社 六十騎 次之
一 二月十日 将軍様御上洛之御行列 御供之面々 騎馬衆
松平伊賀守 松平下総守 勝井右京亮
本多美濃守 本多下野守 松平出羽守 土井大炊頭
酒井讃岐守 酒井雅楽頭 井伊掃部頭
毛利甲斐守 本多能登守 中根 [illegible]
松平摂津守 松平伊予守 立花飛騨守
内藤紀伊守 本多因幡守 松平丹後守 同出雲守
稲葉丹後守 本多美作守 本多大和守 松平和泉守
丹羽左京大夫 [illegible] 細川肥後守 松平伊豆守
宮内少輔 [illegible] 本多内膳正

大坂城代 本多伊勢守 右御先 御道中 [illegible]
水野日向守 浅野安芸守 松平越前守 松平 [illegible]
九鬼大和守 酒井讃岐守 本多美濃守 [illegible]
藤堂和泉守 南部山城守 [illegible] 内藤 [illegible]
久世大和守 安藤対馬守 松平右京大夫 同 [illegible]
同隠岐守 松平伊豆守 土井遠江守 [illegible]
阿部豊後守 朽木民部少輔 [illegible]
阿部 [illegible] 松平 [illegible] 右馬頭 [illegible]
本多上野介 牧野佐渡守 本多 [illegible]
本多越前守 松平 [illegible] 中根 [illegible]
大久保加賀守 内藤 [illegible] 酒井 [illegible]
阿部 [illegible] 土屋 [illegible]
諏訪 [illegible]

当家御取立御下知之上ハ十人不得他数年ニ于今紀伊
宮清御座候御寺御免有之上ハ住居致来候者共
ら無御寺ニ相成候旨申候ニ付[illegible]
被仰付候上ハ御免被成候旨申来候ニ付[illegible]
御役人中ニ而申付候旨申来候ニ付[illegible]
ニ而相済候旨申付候[illegible]

一 二月廿五日ニ寺町本願寺ニ而延年寺参候
一 大師像二十付御開帳御国寺宗寺開帳[illegible]
一 同年十月[illegible]開帳[illegible]
一 三月三日ニ八坂庚申堂開帳 同月七日迄
一 同四月十五日より四月晦日迄 同所金戒光明寺 西雲院
一 同三月四日十六日より 釈迦堂開帳 梅木寺
一 同八月十七日より二月晦日迄 上同 禅林寺門 智福院

一 同三月廿四日より[illegible]開帳 蓮花院
一 二月廿四日より二月廿五日迄開帳[illegible]
一 同十月[illegible] 十福院
一 六月十六日より二月[illegible]開帳 [illegible]寺
一 三月三日より[illegible]開帳 成就坊
一 同三月十八日より[illegible]開帳 八坂[illegible]寺
一 四月五日より[illegible] 清涼寺
一 三月十三日より三月晦日迄 [illegible]寺
一 三月十五日より[illegible]開帳 宝幢寺
一 同四月十日より二月晦日迄 同 平等院
一 同五月十五日より五月晦日迄 慈仁院
文殊[illegible]

一 三月晦日御所之御使被参、大納言殿ゟ[illegible]
一 二月廿六日午刻浅野弾正殿ゟ被為仰候、[illegible]
一 廿七日ニ月浅ノ長政殿、安房守殿書状到来、[illegible]
其後(?)御書付
手前(?)長政(?)御意(?)之由
世間(?)多候、大坂ニ而も[illegible]
大名(?)之衆、先年も[illegible]
上書付之御意(?)、守り[illegible]
之御暇之節[illegible]
御成御刀[illegible]
一 三月二日[illegible]
条(?)内(?)[illegible]
一 三月廿日[illegible]書月[illegible]

一 三月四日[illegible]
三月廿六日[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
又ハ[illegible]
ハ[illegible]

此者の子共両人は□□□小普請入□組頭ニ申きこし
前よの様ニ而御座候又ハ此已前より気之毒候て
其外等一通之事も先年ゟも少にて□付申用
方々組頭衆へ申候所へ不申候ゆへ大て
能御座候て此候し候へくも召了年ニ寄り 但し
一 三月四日 本多□三郎 佐渡守殿へ申候不調法ニ付 大
為り出入相ちかいさしく内済仕由ニ而御免被成
一 同七日 榊原式部大輔殿ニ而御用之節右蔵人へ手紙
佐渡守殿より御番衆ニ 御番衆加賀守殿へ仰付
一 三月廿六日 府中荒井御殿へ 米倉丹後守 明屋敷被下候
除役以後 大須賀□□ □□ 出羽守殿へ被仰付
一 去ル二月十四日 三番町下谷池之端并仲町辺焼失
出火ニ 湯島より神田下辺焼□□□□候

焼残候 佐渡守殿 大関信濃守殿 因幡 道中奉行 被仰付
以後御番衆 右之通ニ候へ共 □□□□此方へ申候
此度御目見仕候而以後 佐渡守殿へ申上候
一 三月七日 参府 内 浅草 松平伊豆守殿
右之通江戸へ御参府之節御用被仰付 佐渡守殿ゟ申候
付之 榊原式部大輔殿御家来ニて 御用之節 出入
一 同十日 松平伊豆守殿 江戸へ参府ニ
一 同十一日 酒井雅楽頭殿 御老中 并 御役被仰付
三月十六日
一 米津 八百 拾七石 七升 七合 弐勺
辰年 □□用 同 同 出羽 備前
寺社 寄合 □□
一 右者大坂御城代 井伊掃部頭 御用 御見立候て

之宗門九十七ヶ所ニ而逢御届候家持候ハヽ
在之候而又ハ絶候者ニ而只今ハ御除候而可致届候
宜しく申付候て可相届もの也
三月十七日届

一 三月十九日ゟ御寺社　同廿六日来る十日

同十八日連歌師御呼出し添書持参被仰付　并ニ
呉服所へ申遣し候右之者承候ニ而
御用達候職人

一 同廿五日
醫師其外御代官所諸事町人ニ而候者
同連町人上下京ニ而被仰付候町々ニ而も
役被仰付候事

一 同廿六日　諸役職并十九
右ニ付被仰付候ニ付銀子被下候旨

御九つゝ之儀何方ニ而茂御免ニ成候事ニ而候
右之品々ハ　以上

一 羽織　同十六ヶ條
是ハ絹紬木綿ニ而縫候とも不苦候但絹縮緬羽二重
之類ハ御停止羽二重ハ無用候ヘ共只今迄
刀ニ而用候者ハ不苦候
一 小袖　右之内ニ而ハ紬絹木綿
是迄ハ紬縮緬羽二重之類ニ而縫候共不苦
右之内三ヶ條
一 裏付上下　但シ　同断ニ而縫候事
一 羽織　但シ　同断ニ而縫候とも不苦候
右之品々ニ而ハ紬木綿之外ハ無用候之事
早速ニ可被申渡候也　以上

一　三月十一日　林出雲守御役御書院
番頭　佐久間　兼平　溝口　蔵人　那部
能勢　数右衛門　浅井　七兵衛　佐賀　舟兵衛
礼　松平　主膳　今井　上野介　図書
鍛冶師　薩摩守　三人　片輪　被仰付
一　三月十八日　豊島郡谷中天王寺村三郎兵衛下屋敷
村三郎　焼失
一　同十六日　本所千本木寺内　万日　出火
三月廿五日　同
一　延享元年十二月十七日　大石　一筆　御許
原峯　霊岸　稲垣　大久保　母　淀　河内　関根　大隅
伊予　石見　蒔田　備後　出雲
大目付　御咎　御免　石川　入道　同　御目付　合志

月番　御付　遠慮　宮崎　伝八　家来
又右衛門　被仰付　佐野　万吉　当人　御役　御
召籠　候之
三月　御用　御頭　土井　大炊頭様　御尋
石川　兵之助　佐藤　松平　伊予守　被仰付
出雲守　被仰付　今日　竹松
以御下知　御役御免
一　寄三月廿三日　御風　被　仰付　御書付　御差出
表　御役人　被仰付　御書付　御座候
御番衆　御目付　御書付　今日　御
御表　御使番　藤堂　御組　御用　保附
御家　御用　御役人　風　下々迄　太
火　同中　右大　御家　大手　御座　相成

ミ方迄遣し候旨申候ニ付雷鳴ニ大科ニ候て町
中引廻し之上所ニて下ミし上獄門ニ被申付
行ふ也 右寛文六年十二月廿六日被仰付候也
　　評定所ニ而御詮議之上被申付候事
　　右仕置之儀存寄申上候　　　　　　以上

一　浅草寺町六月廿八日金子取出し候而
　　御仕置ニ付而被仰付候浅草村新田御預り
御代官所相違無之候旨申候ニ付金子取出し候
方ニ付百姓五人其外之者共申上候
方へ参り候処右之者共申上候
坂本町ニて右之者忠兵衛と申者ニ而
被申付候御詮議之上町中引廻之上
獄門ニ被仰付候由ニ而
被申付候也

一　下総国葛飾郡下小岩村百姓
　　六兵衛
同国同村百姓忠兵衛与申者
寛文六年十二月六日之夜同村之百姓
中ニ而同村与兵衛方ニて忠兵衛を刃物ニ而
切殺し候ニ付吟味之上町中引廻し
之上於浅草獄門ニ被仰付候也
右之通町中引廻しの上獄門ニ被仰付候
也

一　同国同村百姓清兵衛
　　右之者
同国同村百姓喜兵衛并同村清兵衛
　　兄弟之者共
二月十二日夜同村百姓所へ押入
盗物仕候ニ付吟味之上死罪ニ被仰付候
也

一 千府御馬場所因ニ而江府表参着之旨ニ付て 将軍御上洛御供仕候
二月廿日御発輿江府御出立 上様御供奉被仰付候
勅使并供奉 三条家御重卿 御供奉被仰付候
傳奏 坊城大納言殿 野宮中納言殿 御供奉
中山大納言殿 [illegible] 御供奉
院傳奏 正親町大納言殿 [illegible]
御名代 [illegible] 御下向
御目通 大御門前 御届 [illegible]
御供之 [illegible]
右之外 [illegible] 御供 [illegible]
一 同月廿六日 [illegible] 着御 [illegible] 二条御城 [illegible]
并 [illegible]
一 同廿八日 [illegible] 御参内

一 三月十七日 公方様下総国小金原御鹿狩 [illegible]
御供被仰付 [illegible] 御目見 [illegible]
[illegible] 御供 [illegible]
[illegible] 御供 [illegible]
大御番 [illegible] 御番 [illegible]
御先手 [illegible] 御供 [illegible]
[illegible] 御供 [illegible]
[illegible]
[illegible] 御目付 [illegible]
[illegible] 騎馬
[illegible] 騎馬 [illegible]
今日 [illegible] 御出馬 [illegible]
三拾八 [illegible]
三組御 [illegible] 騎馬 百騎 [illegible]

一番　御小性組騎馬　河須部吉兵衛　中嶋伊兵衛
二番　御小性組騎馬　荒尾伊左衛門　拝郷左兵衛
三番　御小性組騎馬　松平伊織　森川主税
御徒頭吉田八兵衛并小頭御徒等ニ而小宮半右衛門
[illegible]御徒組馬場吉兵衛[illegible]半右衛門
[illegible]小人小頭[illegible]家中[illegible]
[illegible]八斗ニ而[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]
八月[illegible]
[illegible]騎馬[illegible]
[illegible]
里程[illegible]　廉[illegible]　御[illegible]

廉[illegible]
御[illegible]
[illegible]
八[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
御[illegible]

[illegible]

一番　御小性組騎馬　河野勘右衛門　中条佐太夫
二番　御小性組騎馬　[illegible]佐左衛門　柳原[illegible]郎
三番　御小性組騎馬　松平信濃守　高川之[illegible]
御徒[illegible]壱番ハ斗小十郎[illegible]ニて小笠原出羽殿
[illegible]御[illegible]馬壱番[illegible]相[illegible]候ニ付
[illegible]小人[illegible]相[illegible]候[illegible]相[illegible]仕[illegible]
[illegible]ハ斗[illegible]相[illegible]壱番之人[illegible]当番[illegible]
[illegible]人[illegible]相[illegible]人[illegible]相[illegible]村[illegible]
[illegible]付壱[illegible]候[illegible]下[illegible]候
人ハ[illegible]付[illegible]候[illegible]人
[illegible]ハ[illegible]人[illegible]之[illegible]騎馬[illegible]
[illegible]人[illegible]候[illegible]相[illegible]
[illegible]御[illegible]候ニ[illegible]

[illegible]候[illegible]十[illegible]御[illegible]一[illegible]ニ[illegible]之
御[illegible]大[illegible]郎[illegible]千[illegible]候[illegible]
[illegible]候[illegible]仕[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]殿[illegible]一[illegible]
[illegible]候[illegible]騎馬[illegible]
[illegible]千[illegible]川[illegible]二[illegible]
[illegible]川[illegible]
[illegible]川[illegible]川[illegible]
御[illegible]御[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]番
井[illegible]
松平[illegible]

酒井左馬允殿
松平右衛門殿
土井大炊頭殿
酒井雅楽頭殿

右急度し御法度之旨御家中へ申付候得共若衆申出之候
何方出し見候ハヽ家中之儀ハ屹度可被成御停止候
目ハ御停止之旨御触有之

一 小荷駄之義宿ニ可為之案内有之者先達而二里三里程ニ先立幡之上
里斗も不見様ニ而而之中山其外ハ道無之候
多少諸ハ案内を以可仕候

一 御備之ハ　大樹様御先手衆見計能々ゟ其先者
令入御陣取等者陣ニ而兼而御指図之儀
鹿狩之鹿も北中ニ而少宛置候ハヽ騎馬之者手掛
之候ハ定メ共ハ御会之上ニ而此御事ハ松平右近様
御先手衆共ニ御先ニ而有馬玄蕃頭殿相勤候
松平左衛門督殿等御先陣被仰付候而御見計之御事ニて
大樹様御先手ハ御備之御旗本
御旗本衆ニ而被仰付候

捉者ニ而共ニ而御当日も右衆合
一 鹿者騎馬三十五人之外　捉者ニ而三十人之
外者十七人之　見物斗　会
右御当日者両組ニ相分ケ鹿狩之御事ニ而御座候
八丁四方ニ網を張り十間程ニ而手代共ニ而御出之候
則手御代　大樹様ニハ御手代共ニ而御座候
鷹狩之御事ニ而御座候　御選御
前後ニ御城ゟ御出ニ而御前ニ而札被仰付候ハヽ其外之人ゟ

一　こゝ手川口御参會之節くこしび方へ於[illegible]しは
御召之節御道具之門掛り上ハ　松御殿御小納戸
之於御徒頭七方人々又而ゝ猶七方人（金）ニ而宅
大御番頭ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
何れも之取ハ別紙ニ在之候　以上

○別紙　立て騎馬之分
御目付　井上[illegible]
御徒頭　佐々又四郎
御使番　酒井小平次
御徒頭　川勝[illegible]
保科周防守組　神尾伴織

[illegible]　駒井[illegible]
[illegible]　長田[illegible]
[illegible]　菅沼[illegible]
近藤平八郎
榊原主水
二ノ御先　[illegible]　村上文左衛門
松平[illegible]
[illegible]　渡辺忠三郎
同
御使番　大久保荒之助
同
御徒頭　松前[illegible]
[illegible]馬
[illegible]伴織
右者共立て騎馬御供先之儀ハ中ニ而一番ニ可相勤候

○別段　御書院、中奥之
御簾掛り内両人持参看経所ニ而御前立候廉
持参之者無之候ハ、御目付罷出相渡候、御
書院番頭御目付立会、御目付方江相渡ニ而
ハ、之者ニ御書院番頭方中より二包ニ含ニ而
此文之者ニ而御目付ハ夫より相渡候
御目付ハ御座敷之節ハ持参之者
御番衆立会、中奥ニ而番頭衆ニ而立会之
御目付衆ニ而御目付ハ御徒目付相渡候
ハ、中奥之節也
一 御備ハ両人書付看経所ニ而御小姓組番頭
一 立会御書院番頭一同ニ相渡候而、御目付方
手渡ニ而可然也

一 世話役之御書院番頭ニ而渡ス也
一 右御備之義ハ御目付ニ而相渡候得共、
御書院番頭ニ而御渡候ニ付、御目付ハ手ニ而渡候
御目付ハ手前ニ而相渡候、世話役之両人
ニ而渡候也
一 御目付立合候ニ付、御書院番頭御目付難計候
ハ、御手前ニ而挑灯持参之事御書院番頭ニ而渡
御書院番頭ニ而可申候
一 右ニ而御書院番頭御書院御目付衆ニ而立会候
御目付衆候而世話役として御書院番頭へ渡ス
○別段　御書院、中奥之
一 小姓組之両番頭御目付相渡し、御書院番頭へ
書付ハ御書院ハ中奥ニ而相渡候事

一 御成当日明ケ六ツ時ニ集リ可申候、其以後笠持ハ其以後之
ニ可申候、御鞍置キ済候ニ付、世話役へ
来ル所ハ前同前ニ候

一 御成当日小姓山中大進方より御先手之御先ニ付候
付候茶ハ御通り之通り伺候ニ付、御前ニ罷出候
済候ニ付、立並ヒ御目見之後、其御先へ相届候所、奥相成候
相済し、御両御鞍二ツ立並ヒ鞍持之通り御先役之
ニ御座候

一 御目見済候後、騎馬立並ヒ、其行列へ相伺候、御目
被仰付候間、騎馬立並ニ付候、相済候ハ、鞍置候
騎馬之御鞍置キ、其上ニ御番所へ参ル、御番所
立会候ニ付、其上ニ手ヲ西ニ下ケ、其後ニ相済候
右相済候ニ付、其御刀ヲ以テ御届申候、御番所へ二

鞘之間

一 鞘ハ前之通り、騎馬ヲ以テ可申候、鞍置之ハ相済之候ニ付鞘
ニ付可申候、其鞘ハ前之通り、騎馬之由可申候
一 御小姓役方ハ御大小方ニ騎馬立鞍置候ニ付両
御鞍置之、其外ニ鞍置ヲ相渡ス
一 鞍之仕方ハ、鞍置ニ可申候、鞍置之由ヲ伝ヘ
一 鞘ハ前之通り、鞘木丈夫ニ仕候、行列之節、奥ニ付
当役之者ハ其以前ニ鞍置之、其前ニ鞍置、其上ニ
一 御勝手ニ可申候、鞍持之ニ付、騎馬相済候ハ、手ニ相
ニ相済、世話役ヲ以テ鞍置候、其行列ニ付可申候
一 鞘ノ先立之世話役ニ鞍置之候得共、其鞍置ヲ申付候
世話役ヲ以テ鞍置之、其行列之節、其後世話
一 返り候ハ、其上ニ相返ル
立会之、西之御役人中ニ一同騎馬立並ニ付前

一 〇 御成当日明ケ七ツ時ニ集リ申候、張番並御籏持之分
ニ而申候、御書院前ニ而、其外世話役之
者共ハ御成門同所ニ而候
一 御成当日小姓頭出迎方ニ附人之面々ハ御出口之
供之者ハ不残通之節其ツヽ御集リ御成之節ハ
張之渡ニ立並之間ハ其場ヘ詰居候事
持参之者両御書院ニ而立並之廉持之者共ハ被立置候
ニ而候
一 御目見仕候騎馬立之面々ハ行列之通リ、右
騎之御番所之立場ニ而張之御成之節了候
騎馬ニ而立並申候ハ三千ニ而方々目當ニ仕候
三人ニ而組合ニ而一手ノ面々ニ書付之通ニ而候
右間合之書付例之通目當ニ仕候 二

一 張之鞘ハ黒ニ而つくし申候、廉之分ハ張ニ被下候鞘
ニ而申候、鞘ハ紙ニ而包被申候ニ付了候
御小姓役方ハ御供方ニ騎馬立廉迄ニ而両
御書院ニ而請取迄了候
一 廉之桁子(?)ハ床几ニ一方ニ如元迄ニ申候
一 張ハ身ニ付て鞘ハ不丈夫ニ候間、何之柄金具ニ
付候とて人ハ申付候、前之角目之ニ申付候
殿様御申候ハ廉持共御供ニ而騎馬押之面々組之分
ニ而世話役之御書院之行列通ニ申候
一 張之先立ニ而張之面々御書院之廉ハ付申候
一 世話役之御書院張之、御書院之行列之面々世話
〇 迄ニ而両ハ了候而迄了候
一 立並之面々御役ハ中之一番騎馬立並之面々前

○別段

別段左之通ニ付御人数ハ於御場所被仰付候事

一 書 酒井日向守組合御書院組騎馬 鞍鐙見分被仰付候
騎馬押し之分

酒井日向守組合
栗原権之丞　後藤右馬　三戸田源之丞
久津見又四郎　加藤与兵衛　内藤助右衛門
大河内丹下　大井玄蕃　桃井小左衛門
荻田弥太郎
保科肥後守組
杉浦刑部　長谷川弥八郎　神尾清十郎
大嶋源之丞　小笠原忠兵衛　亀山権太郎
石河主税　富永甚兵衛　須藤内蔵
酒井又兵衛組
石原源八兵衛　猪俣源之丞　川口政之丞
鳥山五郎九郎　興津権之丞

一 書紀御書院之通ニ而相勤候事

一 組合同心并鞍鐙申付日向守鞍鐙見分ニ付御書院番加藤左衛門組合鞍鐙見分ニ付大番衆ハ麻裃着用ニ而罷出候も有之候ニ付相勤候段申付置ニ付而者向後も致承知候様可申聞候事

一 御場ニ而酒井日向守組之内鞍鐙見分被仰付騎馬立ニ而書組合ニ而組合一書ニ而も右之通ニ而可相勤候事

一 初而康之助御前ニ而日向守申付其外組合之者ハ後ニ参候様申付候事
別段之儀ニ付向後ハ御目通ニ而相勤候様ニ而御用人ニ申付候而者組合之者とも可相心得候事

一 おしつけの事

一 一番ハ組合高家衆より手前ニ而二番ハ組合騎馬
立申ニ付二番ハ組合高家衆より手前ニ而三番ハ組合手前ニ
騎馬立申事

一 一番ハ組合廉返見合高家衆より一町程
先ニ而押立候ハゝ高家衆より二番ハ組合立所ニ騎馬
可相立事

一 弐番ハ組合廉返高家衆より後ニ三番ハ組合立所
騎馬可相立事

一 三番ハ組合廉返高家衆より後ニ三番組合騎馬
立所へ騎馬可相立事

一 相廉掛り之後ハ見合高家衆後ニ可致其
勝返之外家返次第可仕事

酒井日向守組へ

國君 外記　竹尾四郎兵衛　大河内源左衛門
多賀大膳　杉本主膳　駒井三右衛門
久松源右衛門　小出平助　杉本小膳

○二番 松浦 筑後守組合 洲崎出羽守組 鵜殿甚左衛門

播磨守組
筧平右衛門　三宅宗右衛門　石原勝五郎
杉田平太夫　本目権之助　加藤五郎兵衛
杉之本上野組
河村長三郎　多門久右衛門
神田次郎右衛門

大河内内蔵組
三木平左衛門　池田八右衛門　石原新助
三浦数馬　由利半右衛門　丁野武兵衛
田中主膳　荒川勘左衛門　杉田平太夫
安東十右衛門　長田藤兵衛　杉田五兵衛

御書院番頭
渡辺半十郎　中島刑部　千本兵左衛門
服部六左衛門　佐々平蔵
大河内左近　坂之丞
三宅藤十郎　大久保甚兵衛　若林主書
山田三十郎

○三番酒井紀伊守組合御書院組頭騒動之節
御小性組頭
永井監物　土屋左門　曾根源之
渡辺宗助　松前平八郎　長谷川八郎
三好勘兵衛　内藤三郎兵衛　丹羽図書
三河民部　平岡十左衛門　本多主殿
山村将監　岡村帥五郎　新見中務
関保次郎　石黒兵兵衛　竹村九兵衛

横山　松平　本多内蔵助　米津兵庫
御小性組頭
三好大学
小林十郎　関戸藤九郎　長田小十郎
岩瀬吉兵衛　鳴戸百助　荻原右近
柳生兵部少輔　牧野五右衛門
杉浦八右衛門　松浦甚兵衛　杉岡半左衛門

○別紙
一 巳三月廿七日於御小座敷ニ御役替被仰付候、
　右組頭ニ七日御目見ニ御礼申上候、評定所
　御目見不申上候付、八人ニ而組頭上ニ十人宛
　以来之間違無之
一 騎馬頭子共騎合御書院番御小性組両組合

わん陣羽織もよ宿迄つき添ひ武ハ江府より持参股半分
白木綿茶屋にて羽織武ハ白木綿白無地茶羽
分黄色地白紋より茶の丸に三ツ柏上下より白く羽織
々千組にハ二三ワ手入紐を通し羽織を通して結
候ゆへ[illegible]

一 先ツ内御前騎馬十騎引返し騎馬場引返
是非内ハ二三度往返也云　御前場所へ参り
御前緋羽織内にて仰付候　家来共[illegible]
次第騎馬場より御門迄乗廻し[illegible]

一 右之場所二三十人御旗本より[illegible]
之扣候[illegible]場所より[illegible]
[illegible]

一 騎馬場へ[illegible]

[illegible]二[illegible]
一 二ノ御門御[illegible]　大久保[illegible]
馬上にて廉十三　[illegible]　合十三
右大久保[illegible]年[illegible]

○ 別紙　[illegible]
　市[illegible]　[illegible]
　千葉氏
　細島氏　[illegible]
　[illegible]氏　[illegible]

一 [illegible]
[illegible]八百[illegible]
[illegible]別

一 廣橋家ゟ以使者被懸十四日可為
一 日暮時分ゟ御除服ニ付廣橋家ニ而着用
一 持参ハ中御門殿（巾）廿一日
一 はくし役人被申渡候
一 御出立ゟ参内御服御儀式

一 明日若君 家督御礼 御元服御祝式
勅使 中山前大納言 御使官位大納言
院使 御請前大納言
御当番御用 三条実起
位記 宣旨御使御用 御息中納言
御奥向御用 太御門三位

地 紙 押掛大納言
御代官御役 山口主膳
副役 高木雅楽
同 近江守

御加冠役
井伊掃部頭 津林実家村
松平肥後守 汎蔭役 松平紀伊守
堀田相模守

一 大個名様江
御具足之御 御鎧
御弓 藤之木
御矢 国前常長
真御太刀 御刀
御刀 傳右衛門
御脇指 来国光 代二千貫

一 廣之丞ゟ御文五人様 御備十四日四方
一 日暮村々ゟ被御除 但今廣之丞ニ而廣寺
村々網子ニ而 中御人 廿弐三人
一 ばくし 役人 御手毛 被下之
一 御小屋ニ而 御持備 御備之上 品々之
御之
一 四月廿日 君君 家重卿 御元服 御式
勅使 中山前大納言　　御位記 被大納言
院使 前清水前大納言
御襟帯 御用 こ ... 之
位記 宣旨 御位 御用 御几大納言
御身固 御几 土御門三位

地 紀伊 様 御理髪 大納言
御理髪役 山口 丹後守
副役 酒井雅楽頭
同 ... 府
御加冠役 井伊掃部頭 ... 松平 肥後守 ... 松平 ...
一 大納言様ニ 掃部頭 ... 之 ...
御具足 ... 御 ...
御弓 御鞢
御矢 ... 立
真御刀 ... 長 ... 役
御刀 ... 役
御烏帽子 ... 代 ...

公方様江　御馬　御鞍置
御太刀馬代　黄金
御刀　粟田口国光　代金拾枚
大納言様江　御刀　行光御脇差
正御太刀　則長　代金五枚
御刀　景光　代　金三枚
御馬　御鞍置
公方様江
御刀　重宗　代金拾枚
一大納言様御入宿御官位御拝任付而御礼被仰上候御身之儀も正之二而公方様大納言様江
御祝儀之上様方以被召出候上候　公方様
之御祝之上使

一公方様同日御礼二而御代替り八朔御礼二出候御事
御祝之御礼今年同様二御礼被仰付候
一大納言様江従御奏者御礼の上二御人数
御祝之公方様二御太刀二御馬被下御礼
一公方様大納言様江御太刀目録二而被進之
一十八日登城両御礼二者御太刀目録二而御大名衆
衆二而年始之御礼二而御祝儀申上候
後二而相済候文公方様江両御礼被仰付
後御礼之儀御使二而御礼仰付候
従御奏者方以て相済候
一公方様両御礼二而公方様大納言様江公方
目録を以て被仰上候大納言様御太刀目録

一 于御飛脚以 表向御出座 但御小座敷
公方様へ 若君様へ
御太刀 城州國行 代金拾枚
縮緬 拾巻
白銀 三拾枚
御馬 壱疋

一 公方様へ 若君様へ
御太刀 [illegible]之国 代黄金
御小刀 [illegible] 代金[illegible]枚

一 若君様へ
御太刀 [illegible] 代金五枚 持参候へ
御脇指 [illegible] 代金[illegible]枚
[illegible] 光寿
[illegible]

一 同
御[illegible] 二字国俊 代金[illegible]枚
[illegible] 表補 光寿
持参候

一 公方様へ
御刀 [illegible] 代金[illegible]枚
[illegible]

一 同
御刀 宗忠 代金[illegible]枚
[illegible] 表補
[illegible]

一 御能番組 但別紙ニ有
翁 三番叟 [illegible] 松[illegible] 風流 [illegible]
開口
[illegible]
[illegible]

銀壱貫文　八幡　杉原　〆よし　壱貫文
宮　舞鶴の神　宇兵衛　〆ニ分　出し
同村　茂兵衛　〆ニ分　売し
宮本又　七左衛門　〆ニ分
相原　猪兵衛　〆ニ分　売兵衛
大和又　長兵衛　〆ニ分
杉原孫兵衛　三兵衛
御[illegible]を　久兵衛　三分　出し
行之　〆し　[illegible]八　出し
一 当月十五日
此度出来　等方へ相触候由之
〆之

一 同月廿九日 御触　同廿日　御年寄方
同廿二日町触　御触書
前々御触往来之節右之通可相触候之付御守り可申候
上ノ御触之義可相守
一 同月十四日加茂川御斎
伝奏　御使者御座候御
右ニ付此度宜敷御座候
東町　御門右中井宮織殿
一 同月廿九日　若君様御誕生被仰出候ニ付
同廿八日御中之町々へ御祝儀被仰付候一
町々年寄人分并人足張り　町之手当例之通之候
京都町中之者御方ニ分年寄南方ニ分　被差上候
合八千人程之中也

一　総役人様ゟ御前江罷出ちまき頂戴仕候ニ付外
役人衆中同道ニ而町人江小箱菓子壱ツ宛拾匁相渡ス
是ハ右之段伝奏江町々ゟ相尋候ニ付申上ル以上書付之
　　四月廿三日
一　御菓子百七拾壱匁　右　御所様　橘　修理　御書上候
右之通御菓子御役所江申上候処右之通被仰付候ニ付
町中年寄共ニ相渡候処町中ゟ相納候ニ付御尋之義
又ハ御役所ニ而相改候ニ付右之通申上候　以上
月番方へ相尋候也
一　四月廿六日　御役所御証文之通御町中方江御尋之
義ニ付町人年寄共御尋候ニ付右之通申上候　以上
遠藤中務ニ相尋候処右之通相違無之候也　以上
一　四月廿六日　御飛脚便ニ而御書付御状参候

町中年寄共ニ相渡候　大黒屋　大黒屋
一　同十五日　壹之間　同、　拾匁　高田大黒屋
井筒屋　御役所ニ而相渡候
一　同十六日　極飛脚便ニ而御書付御状参候処右之通
両町年寄共ニ相渡候処町中年寄共大黒屋
年寄代ニ而右之通相渡候也
一　同　　若狭屋藤兵衛
一　同廿九日　極飛脚便ニ而御書付御状参候　若狭屋藤兵衛
年寄代ニ而相渡候　御書付之
一　同廿六日　御役所御証文之通御奉行所極飛脚便ニ而
右之通相済候例之通相渡候
右之通ニ御座候　以上
山何　　　　昌迪

八千とせを花にかへん〳〵春は暮ぬ　四辻宰相　冷泉
百よ経しむかしのまゝの松かせに
枕のうちてくみ屋とそれて　其阿
こゝろ餘けの心ちうつり
かけて今もあめの後の池　信致
舟や川つよようふしくし　昌長
うつろひそ雨に着さし時の月　政等
岸辺には波流れきりれ花　無憂
十代田の稲葉の露そ静りて　仍茂
下略
ウ
一五月朔日参賀如例、二条亭・東亭・聖護院・御前へ参、午刻帰宅
一同日今出川亭・二条殿・東山殿・清水寺・本覚院等、同西京浄土寺・像閣院
院以下参上、同十日着
一同十四日、禁裏御連歌、
御発句　御製、脇　入道前中納言
第三　新大納言、以下略之、執筆
源宰相中将也、人数十人計之、後十人也、出座
者十人、大納言、中納言、少将、其外十人、
一五月十三日、二条御所御渡之事、如例候、
始午刻、同十四日、今出川殿、上総介、中井
三位殿、民部卿、大外記、石井、其外十人
参候之、右府、内府以下参、
一八千三百石余、六月、大外記、其外
大外記御祈之儀、御札以下、其外
外記時宜之、御祈祷以下、

一 [illegible]被致[illegible]候ニ付[illegible]相渡候由[illegible]札相渡し候 右
由申聞候ニ付[illegible]ニ相極候 五月十六日
一 以使者[illegible]被仰候ニ付[illegible]被成下候ニ付
[illegible]御書[illegible]候[illegible]申候[illegible]被成候ニ付
[illegible]候[illegible]大[illegible]被[illegible]候[illegible]
[illegible]候[illegible]仰渡[illegible] 五月十七日

以上

一 先月廿六日 [illegible]御所[illegible]候[illegible]御[illegible]
被仰[illegible]候ニ付[illegible]御[illegible]
[illegible]御[illegible]候[illegible]
[illegible]御[illegible]五[illegible]十[illegible]候[illegible]
[illegible]御[illegible]
[illegible]切[illegible] [illegible]候[illegible]

一 [illegible]候ハ[illegible] [illegible]御[illegible]候
一 五月十六日酒井雅楽頭[illegible]江参[illegible]候[illegible]
京[illegible]候[illegible]
[illegible]候[illegible]
五月十六日[illegible]
一 御[illegible]御[illegible]候[illegible]
[illegible]候[illegible]
[illegible]御[illegible]候[illegible]
[illegible]候[illegible]
五月十六日[illegible]
一 [illegible]為上使酒井[illegible]被[illegible]候[illegible]
京[illegible]候[illegible]
一 [illegible]候[illegible]

一 右内新関所御構際道ゟ往来致候者
一 道筋中并村々之者共通り候節ハ
道筋中常旅人之儀ハ前々之通可相改
入念可相改
一 大小之荷物中改候節ハ御料私領共ニ
前々ゟ之通相改候而御定之通可相通
道筋之大小ハ手形を以通し可申候
へ立通之儀ハ改可申候
乗物之儀ハ戸を開可相改
一 関所通り候者ハ前々之通り可相改候
大名之家来ハ御印を以通し可申候
先代ゟ之手形を以通し候者ハ
かと可相改事
一 男女共ニ出入之儀ハ手形を以可相通

一 女人之儀ハ手形を以可相通事
出家山伏之者ハ手形を以可相通
注進可申候
一 先々より相改可申候ハ
一 かこ人乗物之戸を開可相改候ハ
一 鉄炮之儀ハ手形無之候ハヽ可相改
一 大名衆御用ニ而通り候節ハ奉行所へ
御判之手形を以可相通
右条々可相守者也
巳五月

一 六月九日 公方様関東江御下向ニ付而御暇
　之儀可有之由
禁裏様へ 御太刀 大判金 一腰
　　　　御光後様へ 同 卅枚
法皇様へ 御馬代 大判金 卅枚
親王様へ 御馬代 大判金 三枚
　　　同　　同　　三枚
御本丸御大殿ニ茂被成として 御祝儀候て
二条関白殿 近衛前関白殿 鷹司左大臣殿
九条前関白殿 一条内大臣殿 鷹司前関白殿
一条関白殿 中院前大納言殿 中山前大納言殿
勧修寺前大納言殿
同断 献(?)候

高倉(?)殿 参候 大門二位殿 葉室中納言殿
右四人衆
同振舞 柳小路大納言
大刀折紙 武家衆として御礼申
大判金五枚 日光門跡 名代(?)として
同断 横川御(?)...
大八 大納言様御入被成 御書院ニ而
公方様御出座 御装束 御盃
同十八日 公方様 大納言様 御(?)山御能
勅使 武家 伝奏 大納言 御白書院
清閑寺殿 柳原(?)... 中院前大納言殿
同断 中山前大納言殿
坊城殿 勧修寺前大納言殿

大番頭組頭之付
組頭役御番衆　岸本…四人支
知行
組頭役御番衆　中山…四人支
番方役御番衆　…四人支
番方役時役二万　…支
組之只のしめ御番衆組頭　御番衆
二万八百両
組頭役時役四万　…四人支
只のしめ御番衆組頭二万　…両
大知行御の間之
番方役時役二万　押小路大知行
只八しめ御番衆

組頭役…時役二万　…長
只のしめ御番衆
知行
…　小…
…　…
…　…
…　…
…　…
組頭役時役四万　山口…
只のしめ御番衆　覚…料…
組頭役…四万　…
大知行
知行
一覚…料…　…

坂下御門ハ　書院番頭之家　山川大膳亮
内桜田御門ハ　山本(?)志摩守
同所　中奥御番頭之家　菅沼主馬
　萩原(?)左近(?)
呉服橋御門　高田(?)之家　佐藤(?)大炊亮
右同所　寄合(?)　小笠原(?)丹後(?)
坂本(?)様　御番頭(?)之節(?)　松平甲斐守(?)
日比谷御門(?)　御先手頭(?)　松平(?)兵庫(?)
　　　　　　　岩村(?)清次郎(?)

右之通(?)ニ京都御名代ニ而御発足
　同御奥方為御使(?)之家　大久保周防守　千石(?)
　　御使番(?)　酒井左衛門尉　名代(?)
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　千石
日
　前田信濃守(?)　千石(?)
　前田伊豆守(?)　千石

一　今度為御名代酒井左衛門尉殿(?)京都御発足ニ付(?)京都近(?)
一　右前御発足(?)ニ付候処(?)坂(?)川(?)ニ入(?)ル(?)目付方御仮屋(?)建
一　其他(?)御使(?)之面々(?)御目付方並御上(?)二階(?)ニ而(?)御用(?)之節
　　ニ而(?)東海道(?)御上(?)り(?)御発足(?)ニ而(?)御座候(?)
一　酒井左衛門尉(?)殿(?)ニ而先ツ(?)御供(?)人数(?)御番(?)人之
　　外(?)御目付(?)衆(?)ハ(?)此外ニ(?)而(?)御(?)供(?)七千(?)之衆
　　五月廿六日(?)到着(?)之時(?)祇園(?)之(?)御宿(?)所(?)ニ(?)而(?)御(?)休(?)
　　右(?)御(?)宿(?)ハ(?)京(?)中(?)ニ(?)而(?)古(?)来(?)御(?)用(?)之(?)御(?)宿(?)
　　清(?)水(?)ヲ(?)以(?)テ(?)御(?)用(?)意(?)ニ(?)而(?)御(?)座(?)候(?)
　　御(?)供(?)奉(?)行(?)等(?)御(?)座(?)候(?)
一　同(?)心(?)組(?)ノ(?)者(?)御(?)門(?)ノ(?)前(?)ニ(?)而(?)相(?)勤(?)

一 右於酒出入見も衆和殿ニて左之
通り之ハ 公方様御家定御成之御次第ニて 書付有之
御中入後奥ヘ罷出
候ニ付 御広間ニ拝借料 三十日　銀世匁宛
右同　宝生大夫
右同　宝生舟次郎
右同　喜多十大夫
候事紀州御手のかね被下　浅野大夫
御同音壱々文内　当日能番々之ハ御祝儀ニて大夫
一 五月廿日 勅使 院使 其外公家衆院使之人等御暇之節
一 同廿九日 酒井讃岐守殿ニて御座候ハ三月四日御礼
同二日入京之節 中筋通り之院宮ニ相成候処

度々口宣案之節目方向可為相続
一 六月二日 大納言様御官位御昇進之節 太夫
入京（次ノ四日ニヘツツリ）
其外ヘ家老ハ十人 乗物之駕籠 上下之人 下ヨ人
従士廿人 其後之役 皆具ヘテ ○騎馬士七人 馬ノ揃 皆黒ノ 小姓
徒士　持鑓　挟箱　御供之者　口ノ頂 床机持 下同
○具足之 弓箭 対鑓 挟箱 従士之人 刀箱 騎馬一人
嫡理之ニ家老附之○諸士一人○騎馬一人○諸士二人○騎馬二人
○諸士二人従士之 後ニ上着○騎馬二人 同上 鎗杆 六本
旗指物 具足櫃 四ツ○具足之弓箭 挟箱 徒
従士六人 刀箱 騎馬士人 十五本之徒 黒塗傘 家老
持之後大夫 六人ニて手之人弓持 玉薬箱 二ツ
○具足之櫃 徒 挟箱 騎馬六人 上下六十人 具足櫃 ニて家老 弓柄
敷皮 具足 陣羽

一 右終而酒出ス是も栗初番之衣紋 着付初テ之
　右行列ニ而御出座之御礼相済而後御能有之
　御中入後果ニ而給
　被下候内 唐織 金子拾枚宛 観世大夫
　右同 宝生大夫
　右同 喜多十太夫
　右同 宝生新次郎
　役者共へ
　被下物品々のしめ加増有之 役者六人
　為御音曲 金子 内 銀百五十枚 御仕舞方衆ニ被下
　千両 内 [illegible]

一 五月十日 勅使 院使 其外諸役人 帰京
一 同十五日 酒井雅楽頭 右為御使者上京ニ付 [illegible]
　同二十日 入京 右者中御門様江 [illegible]

一 六月二日 大納言様御官位御昇進ニ付 [illegible]
　[illegible] 行列
　[illegible] 上下 [illegible]
　[illegible] 馬 [illegible]
　[illegible]
　○[illegible] ○[illegible]
　○[illegible] 騎馬 [illegible]
　[illegible]
　○[illegible]
　[illegible] 二ツ
　[illegible]

矢箱弐荷 黒塗紋付 ○陸尺四人 但黒之 長柄 花紋
鞘金ノ粉ちらし金かなものたん長毛鞘
持筒十挺 黒塗紋付 玉薬箱壱荷 ○騎馬壱人 但同
弓袋 黒塗 弓弐張 白羅紗矢 鷲羽
用箱壱荷 ○騎馬一人 但同 ○對挟箱 對紋
黒毛一 弓壱張 徒士三人 刀筒 騎馬一人 傘 手勢
○騎馬一人 ○騎馬一人 ○騎馬一人 ○騎馬一人 但同
引馬壱疋 鞍覆紋付 紫鞦 障泥
水花壱荷 對紋 ひぐら馬 ヒロウトノフトン掛ケ 壱丈
白纏一 對挟箱十 對紋 白纏 大鳥毛 壱本
黒塗 黒傘 押紋 弐本 刀筒四ツ 朱塗紋付
徒士廿三人 長刀 馬上 長刀 弐本
弓台二 刀筒二 並ヘ 手勢 紋 引馬 一疋 ○騎馬一人

徒同 ○騎馬一人 手勢 引馬一疋 長刀 物人 手勢
用箱壱荷 ○對挟箱 對紋 黒塗 徒士三人
刀筒 黒傘 騎馬一人 手勢 ○騎馬一人
○騎馬一人 ○騎馬一人 但同 ○騎馬一人 手勢
長刀 纏 持筒 やり ○騎馬一人
○引馬 對挟箱 對紋 引馬三疋 ○騎馬一人
刀筒二 引馬 並ヘ 手勢 ○騎馬一人
對挟箱 對紋 黒塗 弓台 徒士三人
刀筒二 長刀 徒士一人
以下手勢
一 右四つ時河原町
右ハ

新ドワク

矢箱弐荷黒塗紋付 ○陸尺四人 徒目付 廿柄 大筒
鞘金ノ紋ちらし金物さゝみ打 毛革
持筒十挺 黒塗紋付 玉薬箱壱荷 ○騎馬壱人 徒目付
弓持 黒塗徒 弓台黒塗金紋 白熊矢籠箱
用箱壱荷 ○騎馬一人 徒目 ○對挟箱 對持
具足一 弓台一 徒士三人 刀筒 騎馬一人 傘 家老
○騎馬一人 ○騎馬一人 ○騎馬一人 ○騎馬一人 徒目
引馬壱疋 鞍覆唐織錦 鞦緋ノ泥障
水籠巻壱荷 對持 ツヅラ馬 ヒロウトノフトン掛テ 壱丈
向絹之一 對挟箱十 對持 白絹 大名乞 壱疋
長柄 黒塗傘 鍬持 二筋 刀筒四ツ 紫絹縫箔
徒士卅三人 廿刀 馬上 長刀三本 引馬
弓台二 刀筒二 廿人 家紋持 引馬一疋 ○騎馬一人

供同 ○医師一人 家紋 引馬一疋 長刀持人 家紋
同名 大小荷 ○對挟箱 對持 黒塗之 徒士三人
刀筒 黒塗傘 騎馬一人 家紋やり ○騎馬一人 山吉
○騎馬一人 ○騎馬一人 供同 ○医師弐人 家紋
長刀 家紋 引馬三疋 ○騎馬十人 供回り
○引馬 對挟箱 對持 黒塗 弓台 徒士三人 家紋
刀筒二 引馬 壱人家紋 供家老二人 ○引馬壱疋
對挟箱 對持 黒塗之 弓台 黒塗傘 徒士三人
刀筒二 廿刀 家紋 引馬 供家老五人
以下家老 駕籠 引馬
一 右四ツ時河原町…通…代
一 …

御輿之長柄八挿　宰領[illegible]　御先箱持　門馬　押へ
先挿之人　上下　鑓持　卑　挟箱　卑　對槍[illegible]　卑　鑓
對挽　卑　徒士三人　上下　數寄屋　大坂　卑八　千歩
長柄持[illegible]　履持　卑　押へ　坊主壱人　卑
諸司代本役　駕籠　門馬　以上　附添[illegible]
押へ　供廻り　二條迄　馬乗　御所　御簾[illegible]
参内　院参　所司代方之御迎　太閤参候
一　旧冬以来　家来壱人　二條　御所　御使方
一　六月朔日　二條　御殿　表　張付所　蔵[illegible]
六月朔日上使
一　[illegible]　在番　所司代附之　二條在番　家来[illegible]
一　[illegible]　在番所司代附之　二條加番　交代之余出之
摂家方出　[illegible]　人[illegible]

一　[illegible]二[illegible]　御口[illegible]
一　二條城[illegible]　二條表[illegible]
御使[illegible]御上使[illegible]　所司代御[illegible]
[illegible]　有[illegible]　[illegible]
着[illegible]　[illegible]
一　六月[illegible]上使　院参　御[illegible]　二[illegible]
所司代　同[illegible]　所司代附[illegible]　大坂[illegible]
一　同十[illegible]　勅答　御暇　天盃頂戴　御下[illegible]
[illegible]所司代[illegible]
一　同十[illegible]　所司代方へ[illegible]　所司代[illegible]
京[illegible]　[illegible]所司代
同[illegible]
[illegible]
一　同日　八ツ時　[illegible]

御鞍上覆紺羅紗 八拝 絹花紋 門馬押、
先挿之、弐下 金紗卑路卑 對挨拶以人卑路
對挨卑濃茶弐人 弐下 段金掛 大役同人手御
長刀持弐人 狂履取卑 押人 在卑弐人 卑分
諸高弐人 布衣 殿ノ門馬 以口 諸大夫
押、 供ノ者 弐宗迄 罷出 御居前 御丁寧
参候 院参候 以当日代 方迄 御同膳 罷越

一 同日東京院中以附之方

一 二ノ應 東以東へ 公相共 着候 以着
　口人 参以 当附 二家 附 候処 罷出
　以方 参人 罷 以 御暇 之 由
　以及 当日附 参 二家 附 加 相 二方 罷 候
　挨拶 御 黄 在 以 挨拶 人 御 目見 以 参 致

一 もて二門ヘ向て 信ノ之

一 二条へ参所へ 東芝長代出 御挨拶
　御所へ以段 御使 人 京附 御目着 之 相 致
　家芝 着 之所 以 着 之 候 御 一 宗

一 着 所 之 御 以 世中 以 御 候 御 付

一 二 之 使 院参 御 物 御 下 段 下 二 言 参 家

　以当日代 同様 以 附 付 御 家 大 役 卑 致 之 方

一 同十日 勅答 御暇 天盃頂戴 御下 段下 以

　付之 候 也 以 之

一 同 御当日代 方へ 御暇 在 付 之 以 家 相

　京 以 以当 以 在 付 同 之 以 在 付 之 以 当 代

　所 以 当 以 方 以 相 候

一 同日 八ツ時 二家方に 御 着 之

一 同十三日於御城御奉行衆京都参見之〔コトニヨリ〕体茶
湯御り
一 在々御代官川東町寄宿衆十二町へ目録ニ六段
ニ而町々へ致ス付ル者共申付ル而御大工別当
御大工衆ニ右之候ニ付酒肴ニ被下候由御奉行衆
宿ノ者御座候由ニ付ケ候ニ而ト申付ル而
人別ニ相渡ス由也
一 六月十四日御能御覧ノ付物類振廻屏風被下候
手前ニ大名衆ノ人々中ニ有之ニ付屏風被下
東福門院御所ニ而御能之節御所中ニ被下
御所御殿ニ体アルニ付被下候事ニ御座候由ニ而東御所
ニ御座候武士衆御服等中数多ノ御殿御前ニ
御奉行衆御座候御所御礼東福門院ニ

一 此方之人毎ヶ様捨ニ相成候絶ル事ナキ者共ニ夏ニ
京都撤退者有之候ニ付○分毎月十日之右ニ六ヶ度
ツヽ青度ニ候水尾ニ御風呂有之御付候而病人
於之御○小御法度等御座候而七月十六日御所ニ
月額ヶ御付日ニ御状相添候ニ付十八日難有ク存候
風俗ニ付紙面之義相守候様ニ申付候御代官衆ニ
一 六月十六日夜九ツ時分御所ニ御座候様ニ申付ル
一 同十三日夜五ツ時分ニ而東分御所之方ニ而光大キ明
月ノ山端ニ相見候夕リ赤光地ヨリ吹上候様ニ見申候
由ニ御座候
一 六月廿七日依御遺言山縁御寺御門跡大雲院へ
於十日ニハ相済候而御座候御礼ニ而御方丈ニ
御座候而○分御仏殿御座候而参人被成候

一 国土ニテ寄附地形所文立 一件 体等
津師り

一 在番所多分川原町寄宿来十三所へ白河二三段
ニ而町へ移り候而家中 [illegible] 別付
[illegible] 三段分二三段之 [illegible] 酒場へ二段 [illegible] 下
宿ノ下ヲ [illegible] 付 [illegible] 来 [illegible] 家中 [illegible]
人別ニ [illegible] 候

一 六月十四日 [illegible] 之付物 [illegible] 屏風 [illegible] 山
[illegible] 大 [illegible] 付テ之 [illegible] 屏風 [illegible]
東福門院御 [illegible] 御 [illegible] 仲 [illegible]
御所 [illegible] 体アルニ [illegible] 東 [illegible]
[illegible] 中 [illegible] 之人形 [illegible] 之

一 寄 [illegible] 京 [illegible] 光

一 [illegible] 毎ノ [illegible] 絶ル事十七 [illegible] 夫ニ [illegible]
京 [illegible] 者 [illegible] 毎月十 [illegible]
ニ [illegible] 風 [illegible] 病人
[illegible] 子〇小 [illegible] 七月十 [illegible]
月額 [illegible] 付 [illegible] 難有
風 [illegible] 代 [illegible]

一 六月十九夜 [illegible] 御 [illegible] 子 [illegible]

一 [illegible] 夜 [illegible] 元太さ明
月ノ山 [illegible] 似タリ [illegible] 大 [illegible] 手

一 [illegible]
六月七日 [illegible] 山 [illegible] 御 [illegible] 代 [illegible] 院
[illegible] 方元
[illegible] 〇 [illegible] 人 [illegible]

一 米五千七拾石余　二月九日備　右ハ御城米也
右ハ大坂御蔵米御払ニ付、入札之上直段相極、代銀ハ
大坂御金蔵へ相納申候、右之米
見分之上、入札ニ付、二月廿日落札相極申候
御代官ゟ相渡申候

一 加賀川筋蛇籠御普請出来ニ付、御見分被仰付候、尤四月
右之外御入用之儀ハ大坂御金蔵ゟ御渡被成候
右ハ京都御代官ゟ御渡候ニ付、御材木ニ付、前々ゟ大坂
御蔵ゟ相渡候分、二月廿日ゟ御払ニ相成候

一 米弐百拾石程　右ハ丹波国之内大坂ゟ相渡ス　御勘定

一 米弐百六拾石程　右ハ御用

一 右ハ二条御蔵米ゟ御払ニ付、入札之上落札

之上大坂御蔵米御払ニ付、御入用之儀ハ一切申付
候得ハ、大坂ニ而米相渡、尤御蔵奉行衆へ御断之上
御代官ゟ御渡被成候、御番所へ相届候事
相済候上、御入用之儀ハ御勘定所へ御断申上候

一 米三千六百石余　右ハ御城米也
右ハ大坂御蔵米御払ニ付、入札之上直段相極申候
右ニ付、代銀ハ御金蔵へ相納、御代官所へ相渡
御米相払候ハヽ、其節之直段ニ而代銀相納候
右之通相極申候

一 六月廿七日　御蔵米御払ニ付、御代官御断之上相渡

一 同廿七日夜、当所町々相改候処、銀子不足

一 同十八日、祇園御霊会ニ付、御役人中罷出候
御見物之儀、町中一統へ相触申候、尤御所司代へ相届

一 [illegible]明日[illegible]菊亭[illegible]
六ツ時 上使来臨 [illegible]
禁裏江
御太刀 一腰 白銀 三百枚
綿 [illegible]
同 拾枚 長橋局へ
同 拾枚 大御乳人へ
御太刀 一腰 大御台様より 白銀 五百枚
御綿 五百把
同 三枚 長橋局へ
同 弐枚 大御乳人へ
源[illegible]府より[illegible]献上

御太刀一腰 御馬代 黄金[illegible]両
蝋燭 [illegible] 手燭
白銀 拾枚 長橋局へ
同 五枚 大御乳人へ
同 五枚 上臈へ
同 五枚 伊予局へ
同 三枚 大典侍へ
同 三枚 表使女房へ
大[illegible]周防守[illegible]献上

内侍所
御太刀馬代銀拾枚 同
表使女房へ
御太刀[illegible]十枚 同
[illegible]女房へ 同
[illegible] 同
御太刀一腰 御馬代 [illegible]
御馬代 白銀三十両
同 銀子三枚 長橋局へ
同 三枚 上臈へ

一 御馬進上
御馬進之　大館入〻
　丹後守〻
　前田信濃守秋之
清晃御所〻
太刀　山中方へも刀
御太刀　三方様分　縁〻花
御太刀　白糸卅段
御太刀　大納言様分
　白糸卅段　御帯　十巻
御太刀　紫緞子
　白糸二段
　緞子　　蜷川新右衛門分
　口刀
　松田豊前守分
　上〻藤〻
　大友周防守分
　蜷川〻〻　藤〻

御太刀〻緞　白糸卅段　紗綾　弐束
　宇津山城守　松田豊前守〻
　口刀　上〻藤〻
　　家田信濃守分
太刀　三方様分　白糸百段　縁〻花
親王様〻
御太刀　大納言様分
　白糸卅段　御帯　十巻
御太刀　白糸卅段
　紫緞子　蜷川新右衛門分
御太刀　白糸卅段
　上〻藤〻
　下〻段　少〻人〻
　大友周防守分

御太刀　白銀五百枚　紗綾五十巻
　黄金拾枚　上臈へ
太刀　以乳人へ
　前田修理亮
関白殿へ　大樹公　御太刀　白銀五十枚
　大納言様　御太刀　白銀百枚
中院殿へ　同　御太刀　黄金三十枚
中山殿へ　同　御太刀　黄金二十枚
中院殿御取次衆　大樹公御扶持方
中山殿御取次衆　家宣卿御扶持方
梅宮顕子内親王様上使之人ゟ被上
天童御禮膳　硯箱太刀台
御子共　目録ヲ以被遣　小笠原ゟ被遣

禁裏附衆へ
　真御太刀　黄金　酒井左衛門尉へ
　猶高御太刀　佐藤勘解由　一疋ツヽ
　　十月蒔絵一疋ツヽ　大友因幡守へ
分
　太刀　京都　西湖小袖　前田修理亮へ
　定火消組　松平佐渡守へ
法皇様へ
　内裏百目　酒井左衛門尉へ
　荒川　御機嫌伺
　　大友因幡守へ
　　松平土佐守
　　前田修理亮へ

薄やう百そく二箱　御服十重
緞子二十巻　杉原伊勢守
料紙引合一箱　御服十重
　大友周防守
唐織物一折　御服十重
　武田伊豆守
十体和歌一折　御服十重
緞子二十巻　杉原伊勢守
勅筆御短冊以後二重
　御汁　大鮭 小鯛 すゝき
御膳　鮑 かつを さし

御膳いりこ・御飯
御あへ物 こものゝ汁
　御二　さつき 御汁 かゝ
松茸 くらげ 百ひろ
かまぼこ
　御三　御汁 はまくり たこ
判鮑 鯛 さけ
　御引物
御中酒 てんかく
一夜鮨 あいきやう
色付 ころ 小そで
御菓子 かもの とりのそ
かざり ひた よし

御吸物へきミあゆんじゃう
御菓子かすていらこんぺいとう
　あるへい
　以上
一 右御代官内藤京都へ申上候ニ付御暇被下之事
　御暇之通被仰付候事ニ付是迄之通ニ而上京
　六月十六日
一 紅葉山院御法事相済ニ付右役々御暇被下之旨
　御老中御列座ニ而被仰渡 但書付有之
　福田安一 并孝子一同同様ニ付 老年子数十六
　御目見之節御門前 御通り掛り之節
一 六月廿日 当時大坂町奉行 御勘定奉行
　兄弟分相究 竹本 相済 御屋敷へ
　相成 破れ 候 相成候 屋敷

一 此間兄弟分松平某月番ニ付 老中 相勤
　江戸老中御役替
　二之御丸御留守居 石川 某
　御側衆 若年寄 御番頭
　寺社奉行 小普請組支配

同二行アケ
前後入レ替へ

後

一 長崎奉行御定七千貫目 相成候事
　右御用之節 御目見 御通り 御用
　御勘定所 御老中 河内
　被仰付候 御目見 河内守
　兄弟分 河内守 長崎 奉行
　兄弟分 河内守 役 付 候

前

一 七月朔日 御代官 相勤
　御勘定 奉行 相勤 某

一御吸物へさしみ出し申候よし
御菓子かうせんべい出し候由
　　右之通
一右府殿ニ而御家来内密ニ而大名方不残御機嫌伺之儀被仰出候由
　　六月廿六日
一紀州殿御死去ニ付京都ゟ早飛脚ニ而御悔被仰付候
　　御家中一同御悔被申上候由
　　福田女ハ孝子ニ付御褒美之宝銭七十六
　　御館より御門ゟ頂戴致候由
一六月廿七日晩大地震御座候而大風雨ニ而所々損
　　及ひ候由
一此節京都ゟ飛脚を以申越候
一江戸表中御役替
　　二御老中　　　　　　　　石川主殿頭
　　御側衆　　　　　　　　　加納遠江守
　　寺社奉行　　　　　　　　小笠原長門守

同二行アケ
前ノ行ニ入レ数ヘ

修

一長崎表御入舟七千貫目程御割付ニ而御定ニ付阿蘭陀
　　長崎奉行ゟ御渡之筈ニ而
一阿蘭陀ゟ御馬其外献上物有之候
一七月朔日夜大風雨ニ而所々損し
　　夜中破損之儀有之由

一　寛保[illegible]年八月[illegible]庫裡不残焼
失ス明ケ六ツ時ニ出火[illegible]大[illegible]寺社ハ残ル

国立公文書館
National Archives of Japan